

【資料Ⅱ】

中・高校生に対するアンケート調査結果

中・高校生に対するアンケート調査結果目次

I	調査の概要	
1	調査の目的	3
2	調査の方法	3
3	調査地域	3
4	調査回収結果	3
5	調査時期	3
6	集計・分析	3
II	前年度調査との比較	
1	平成13年度調査との比較	7
2	平成13年度調査の調査方法等	7
(1)	調査の方法	7
(2)	調査地域	7
(3)	調査回収結果	7
(4)	調査時期	7
3	比較結果	7
(1)	調査対象者（生徒のみ）	7
(2)	自分の（自由に使える）携帯電話・PHSの所持状況	8
(3)	出会い系サイトに接続した経験の有無	9
(4)	出会い系サイトを通じて、実際に相手と会った経験の有無	10
III	調査結果の分析	
1.	携帯電話・PHSについて	13
(1)	保有状況	13
(2)	有害情報接続への注意	14
(3)	誰から注意されたか	15
(4)	インターネットに接続できる機能	16
(5)	名義	17
(6)	使用料の支払者	18
2.	出会い系サイトについて	19
(1)	印象	19
(2)	接続経験	22
(3)	接続方法	23
(4)	接続場所（パソコン）	24
(5)	接続場所（携帯電話・PHS）	25
(6)	接続目的	26
(7)	出会い系サイトへの書きこみや返信の回数	27
(8)	出会い系サイトで知り合った人はいるか	28

(9) 実際に会った人はいるか	29
(10) 出会い系サイトの利用を親に話すか	30
(11) 出会い系サイトの種類	31
(12) 年齢制限がある出会い系サイトの利用	32
(13) 利用しようと思った理由	33
3. 出会い系サイトに関する問題について	34
(1) 児童買春事件・恐喝事件を知っているか	34
(2) 犯罪被害防止の情報を聞く（見る）か	35
(3) どのようにして聞く（見る）か	36
(4) 事件の被害者となったことや迷惑を受けたことはあるか	38
(5) 周囲に事件の被害者となったことや迷惑を受けた人はいるか	39
(6) 同年代の人が出会い系サイトを利用することについて	40
(7) 利用すべきでないと思う理由	41
(8) 利用しても構わないと思う理由	42
(9) 同年代の人で、性的な書込みをする人はいるか	43
(10) 実際に出会い系サイトの相手と会うことについて	44
IV. 集計結果表	45
V. 調査票	71

I . 調 査 の 概 要

1 調査の目的

近年のインターネットの著しい発展と利用者の範囲の拡大に伴い、少年によるこれらの利用機会が増加する状況となっている。一方で、少年を被害者とする、いわゆる「出会い系サイト」に係る事件が急増し、影響が憂慮されるところとなっている。

本調査は、生徒による「出会い系サイト」の利用実態、及び同サイトに対する意識等を調査し、少年に悪影響があると考えられる「出会い系サイト」の実態を明らかにすることを目的として行われたものである。

2 調査の方法

調査は、中学生及び高校生を対象とし、調査票に対象者が記入し、調査票は無記名、密封封筒で回収。

3 調査地域

山形県、東京都、大阪府、島根県の4都府県（中学校及び高等学校各1校）

4 調査回収結果

調査対象者総数595人

(内訳)

○ 公立中学校の2年生306人

○ 公立高等学校（全日制の男女共学普通科）の2年生289人

5 調査時期

平成14年12月

6 集計・分析にあたって

(1) 図表中のnとは、その質問への解答者総数のことである。

(2) 回答は、解答者数を100%として算出し、小数点第2位を四捨五入している。そのため、回答率の合計が100%にならない場合がある。

(3) 複数回答の質問では、回答率の合計が100%を超える場合がある。

Ⅱ. 前年度調査との比較

1 平成 13 年度の調査との比較

平成 13 年度に行った「青少年とインターネット等に関する調査」は、生徒（539 人）とその保護者（465 人）を対象に、インターネットの利用状況及びインターネットに対する意識等を調査し、少年に悪影響があると考えられるインターネット上の違法・有害コンテンツの実態を明らかにするために行われた。

今回の調査では、インターネット上のコンテンツのうち、特に生徒の「出会い系サイト」の利用実態等を調査することを目的としているが、質問事項のうち一部質問を、前年度と同内容のものとし、その比較を行ったものである。

2 平成 13 年度調査の調査方法等

(1) 調査の方法

調査は、中学生、高校生及びその保護者を対象とし、調査票に対象者が記入し、調査票は無記名、密封封筒で回収。

(2) 調査地域

平成 14 年度調査と同じ

(3) 調査回収結果

調査対象者総数……………1,004 人

(内訳)

○ 生徒（539 人）

公立中学校の 2 年生……………273 人

公立高等学校（全日制の男女共学普通科）の 2 年生……………266 人

○ 対象生徒の保護者（465 人）

母親……………102 人

父親……………358 人

その他……………5 人

(4) 調査時期

平成 13 年 9～10 月

3 比較結果

(1) 調査対象者（生徒のみ）

調査対象者は、平成 14 年度調査が 595 人で、前年調査より 56 人多かった。

【調査対象者】

項目	年別	総 数		中 学 生		高 校 生	
総 数	13	539	(100)	273	(50.6)	266	(49.4)
	14	595	(100)	306	(51.4)	289	(48.6)
うち男(%)	13	245	(100)	147	(60.0)	98	(40.0)
	14	318	(100)	154	(48.4)	164	(51.6)
うち女(%)	13	294	(100)	126	(42.9)	168	(57.1)
	14	277	(100)	152	(54.9)	125	(45.1)

(2) 自分の（自分が自由に使える）携帯電話、PHSの所持状況

平成 14 年度調査では、携帯電話もしくは PHS のいずれかを持っている生徒が 62.7%であり、前年（52.7%）と比べ 10 ポイント増加している。

また高校生では携帯電話もしくは PHS の所持状況は、前年と大きな差はないが（14 年度 88.9%、13 年度 83.1%）、中学生では 14 年度が 40.2%で、前年（23.0%）より、17.2 ポイント割合が高くなっている。

【自分の（自分が自由に使える）携帯電話、PHSの所持状況】

項目	年別		総 数	携 帯 電 話 だ け を 持 っ て い る	P H S だ け を 持 っ て い る	携 帯 電 話 も P H S も	携 帯 電 話 も P H S も	携 帯 電 話 も P H S も	無 回 答					
	13	14												
総 数	13	539	(100)	247	(45.8)	37	(6.9)			246	(45.6)	9	(1.7)	
	14	595	(100)	360	(60.5)	13	(2.2)	7	(1.2)	215	(36.1)			
	うち男(%)	13	245	(100)	86	(35.1)	13	(5.3)			140	(57.1)	6	(2.4)
		14	318	(100)	182	(57.2)	3	(0.9)	4	(1.3)	129	(40.6)		
うち女(%)	13	294	(100)	161	(54.8)	24	(8.2)			106	(36.1)	3	(1.0)	
	14	277	(100)	178	(64.3)	10	(3.6)	3	(1.1)	86	(31.0)			
中 学 生	13	273	(100)	55	(20.1)	8	(2.9)			204	(74.7)	6	(2.2)	
	14	306	(100)	109	(35.6)	8	(2.6)	6	(2.0)	183	(59.8)			
	うち男(%)	13	147	(100)	24	(16.3)	1	(0.7)			118	(80.3)	4	(2.7)
		14	154	(100)	41	(26.6)	3	(1.9)	4	(2.6)	106	(68.8)		
うち女(%)	13	126	(100)	31	(24.6)	7	(5.6)			86	(68.3)	2	(1.6)	
	14	152	(100)	68	(44.7)	5	(3.3)	2	(1.3)	77	(50.7)			
高 校 生	13	266	(100)	192	(72.2)	29	(10.9)			42	(15.8)	3	(1.1)	
	14	289	(100)	251	(86.9)	5	(1.7)	1	(0.3)	32	(11.1)			
	うち男(%)	13	98	(100)	62	(63.3)	12	(12.2)			22	(22.4)	2	(2.0)
		14	164	(100)	141	(86.0)					23	(14.0)		
うち女(%)	13	168	(100)	130	(77.4)	17	(10.1)			20	(11.9)	1	(0.6)	
	14	125	(100)	110	(88.0)	5	(4.0)	1	(0.8)	9	(7.2)			

(3) 出会い系サイトに接続した経験の有無

パソコンや携帯電話、PHS を使って、出会い系サイトに接続した経験がある生徒は、中・高校生全体で、平成 14 年度調査では 15.6%と前年度調査 (12.4%) よりわずかに増加している。

なお、高校生の男女別でみると、男子は平成 14 年度調査では 32.9%で、前年度 (18.4%) より割合が高くなっているが、女子は、平成 14 年度調査では 17.6%で、前年度 (22.0%) より低くなっている。

【出会い系サイトに接続した経験の有無】

項目	年別	総 数		あ る		な い		無 回 答		
総 数	13	539	(100)	67	(12.4)	455	(84.4)	17	(3.2)	
	14	595	(100)	93	(15.6)	494	(83.0)	8	(1.3)	
	うち男(%)	13	245	(100)	21	(8.6)	216	(88.2)	8	(3.3)
		14	318	(100)	60	(18.9)	252	(79.2)	6	(1.9)
	うち女(%)	13	294	(100)	46	(15.6)	239	(81.3)	9	(3.1)
		14	277	(100)	33	(11.9)	242	(87.4)	2	(0.7)
中 学 生	13	273	(100)	12	(4.4)	252	(92.3)	9	(3.3)	
	14	306	(100)	17	(5.6)	285	(93.1)	4	(1.3)	
	うち男(%)	13	147	(100)	3	(2.0)	139	(94.6)	5	(3.4)
		14	154	(100)	6	(3.9)	144	(93.5)	4	(2.6)
	うち女(%)	13	126	(100)	9	(7.1)	113	(89.7)	4	(3.2)
		14	152	(100)	11	(7.2)	141	(92.8)		
高 校 生	13	266	(100)	55	(20.7)	203	(76.3)	8	(3.0)	
	14	289	(100)	76	(26.3)	209	(72.3)	4	(1.4)	
	うち男(%)	13	98	(100)	18	(18.4)	77	(78.6)	3	(3.1)
		14	164	(100)	54	(32.9)	108	(65.9)	2	(1.2)
	うち女(%)	13	168	(100)	37	(22.0)	126	(75.0)	5	(3.0)
		14	125	(100)	22	(17.6)	101	(80.8)	2	(1.6)

(4) 出会い系サイトを通じて、実際に相手と会った経験の有無

パソコンや携帯電話、PHS を使って、出会い系サイトに接続した経験がある生徒のうち、実際に相手と会ったことのある生徒は、中・高校生全体では、30.1%で、前年度(35.8%)より低かった。

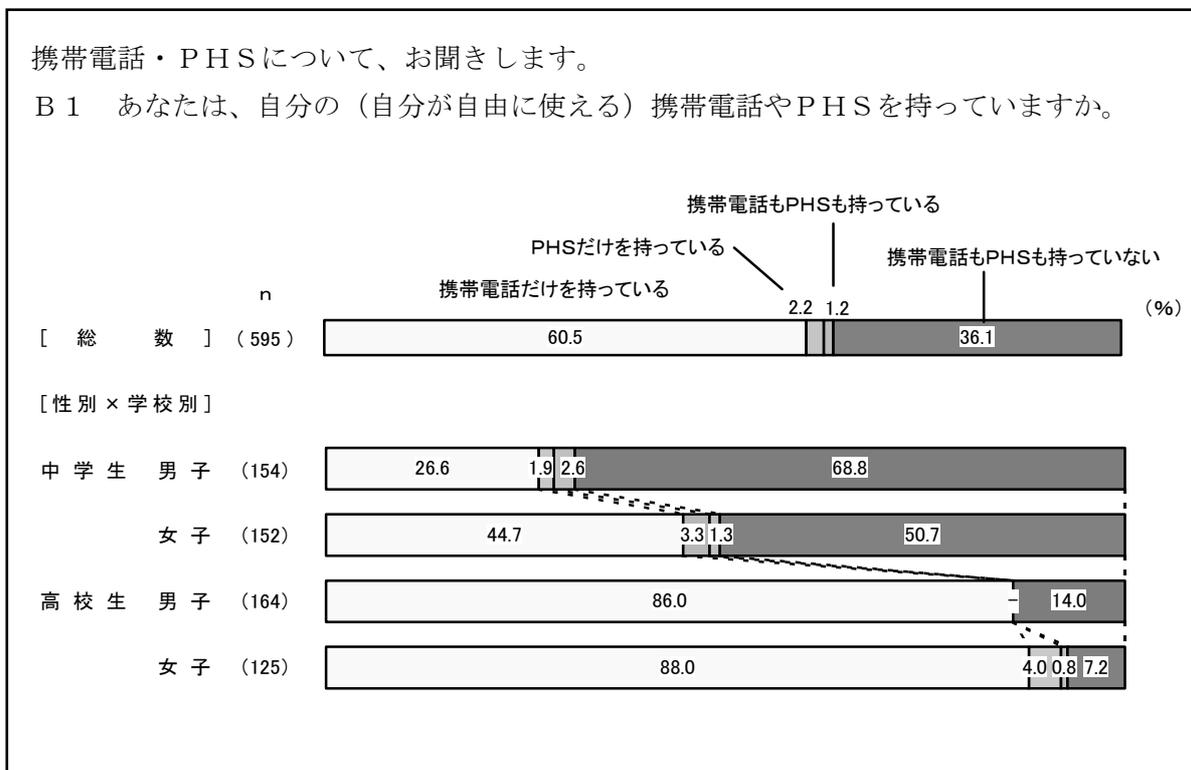
しかし平成 14 年度調査では、新たに「出会い系サイト」を通じて、実際に相手と会った経験はなくても、知り合った人はいる生徒の割合を調査したところ、中・高校生全体で 43.0%の生徒が実際に相手と会わなくても、メールや電話でのやり取りを通じて、知り合った経験があることが判明した。

【出会い系サイトを通じて、実際に相手と会った経験の有無等】

項目	年別	総 数		あ る		な い		無 回 答	
総 数	13	67	(100)	24	(35.8)	43	(64.2)		
	14	68	(100)	28	(41.2)	40	(58.8)		
	うち男(%)	13	21 (100)	6 (28.6)	15 (71.4)				
	14	43 (100)	18 (41.9)	25 (58.1)					
うち女(%)	13	46 (100)	18 (39.1)	28 (60.9)					
	14	25 (100)	10 (40.0)	15 (60.0)					
	中 学 生	13	12 (100)	3 (25.0)	9 (75.0)				
		14	10 (100)	3 (30.0)	7 (70.0)				
うち男(%)	13	3 (100)	1 (33.3)	2 (66.7)					
	14	2 (100)	1 (50.0)	1 (50.0)					
	うち女(%)	13	9 (100)	2 (22.2)	7 (77.8)				
		14	8 (100)	2 (25.0)	6 (75.0)				
高 校 生	13	55 (100)	21 (38.2)	34 (61.8)					
	14	58 (100)	25 (43.1)	33 (56.9)					
	うち男(%)	13	18 (100)	5 (27.8)	13 (72.2)				
		14	41 (100)	17 (41.5)	24 (58.5)				
うち女(%)	13	37 (100)	16 (43.2)	21 (56.8)					
	14	17 (100)	8 (47.1)	9 (52.9)					

1. 携帯電話・PHSについて

(1) 保有状況

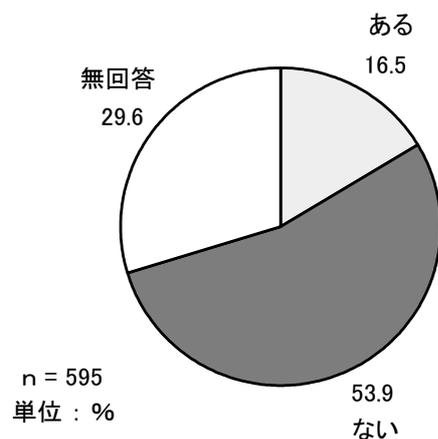


自分の（自分が自由に使える）携帯電話やPHSを持っているかをたずねたところ、『持っている（計）』（「携帯電話だけを持っている」（60.5%）+「PHSだけを持っている」（2.2%）+「携帯電話もPHSも持っている」（1.2%））が6割を超えている。

内訳をみると、『持っている（計）』は高校生女子（92.0%）で最も多く、9割を超えている。また、高校生男子も8割台と高い比率を示している。一方、中学生男子は3割をわずかに超えるにとどまり、中学生女子も半数に満たなかった。

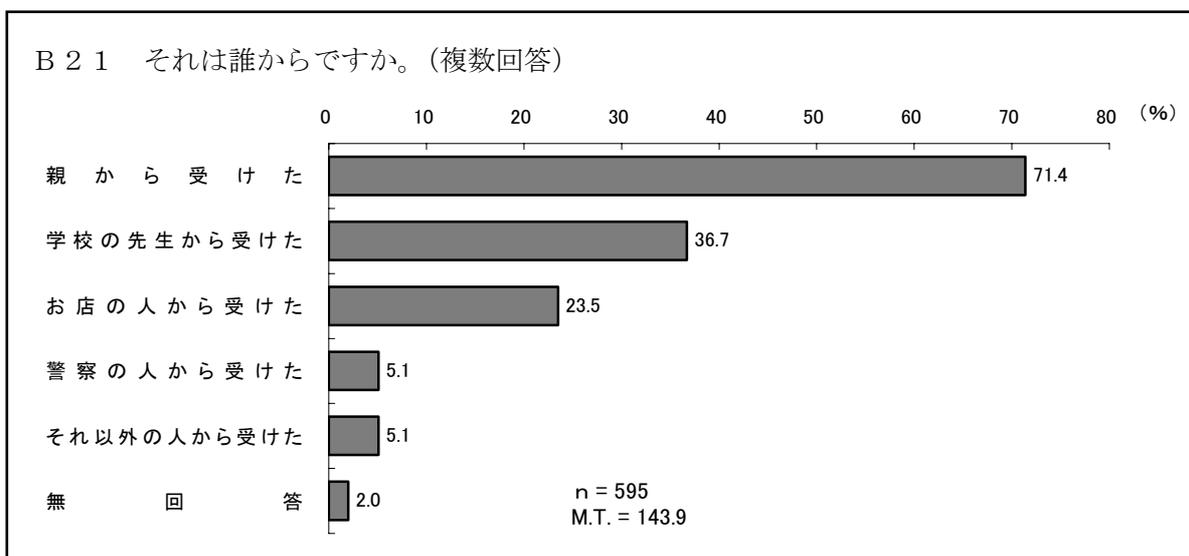
(2) 有害情報接続への注意

B 2 携帯電話やPHSを購入する時に、出会い系サイトなどの有害な情報に接続しないようにするなど、注意を受けたことがありますか。



携帯電話やPHSを購入する時に、出会い系サイトなどの有害な情報に接続しないようにするなど、注意を受けたことがあるかをたずねたところ、「ある」が16.5%、「ない」が53.9%となっており、「ない」が半数を占めている。

(3) 誰から注意されたか



誰から注意されたのかをたずねたところ、「親から受けた」(71.4%)が最も多く、次いで「学校の先生から受けた」(36.7%)、「お店の人から受けた」(23.5%)、「警察の人から受けた」(5.1%)、「それ以外の人が受けた」(5.1%)と続いている。

内訳をみると、「親から受けた」は中学生(79.6%)でおよそ8割となっており、とりわけ中学生女子(90.3%)で9割を超えて高い比率となっている。「学校の先生から受けた」は高校生女子(59.3%)で多くなっている。また、高校生男子は「お店の人から受けた」(41.2%)が最も多くなっている。

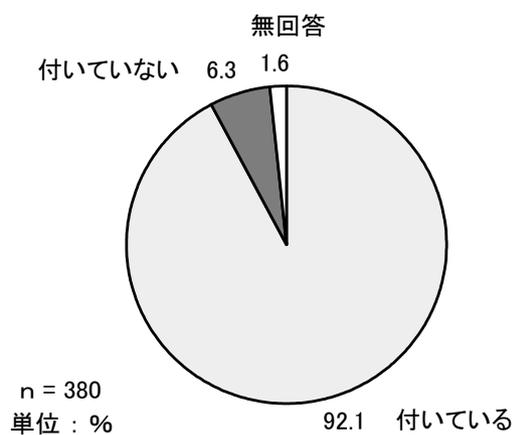
誰からの注意か／学校別、性別×学校別

		親から受けた	学校の先生から受けた	お店の人から受けた	警察の人から受けた	それ以外の人が受けた	無回答	
[該当数]		(98)	71.4	36.7	23.5	5.1	5.1	2.0
[学校別]								
中 学 生	(54)	79.6	27.8	20.4	3.7	5.6	-	
高 校 生	(44)	61.4	47.7	27.3	6.8	4.5	4.5	
[性別×学校別]								
中 学 生 男 子	(23)	65.2	26.1	17.4	4.3	4.3	-	
女 子	(31)	90.3	29.0	22.6	3.2	6.5	-	
高 校 生 男 子	(17)	35.3	29.4	41.2	5.9	5.9	11.8	
女 子	(27)	77.8	59.3	18.5	7.4	3.7	-	

(%)

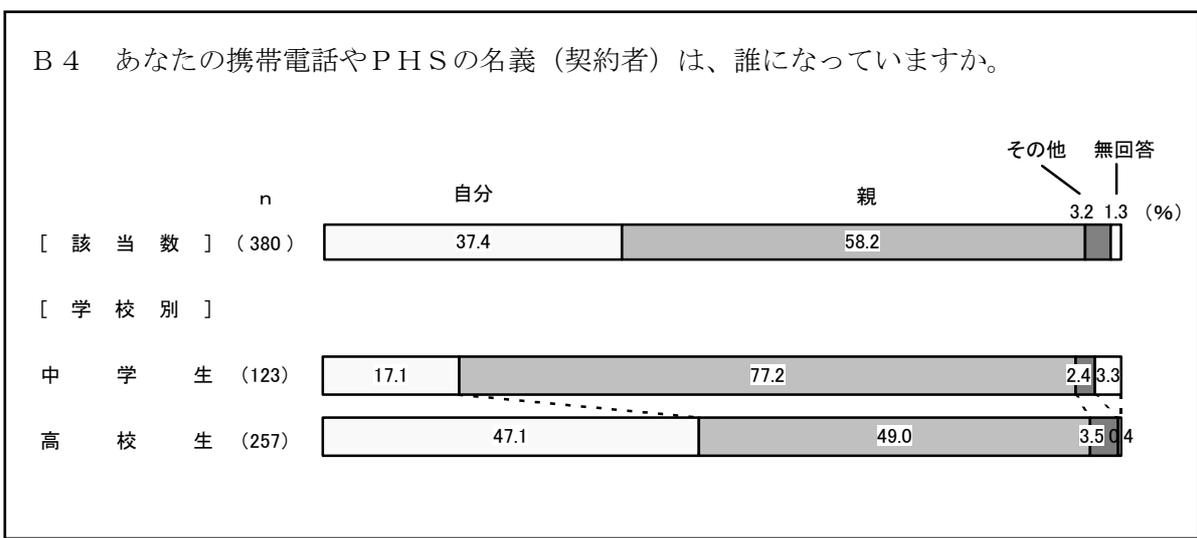
(4) インターネットに接続できる機能

B3 あなたの携帯電話やPHSは、iモード、イージーウェブ、ジェースカイウェブ等インターネットに接続できる機能が付いていますか。



自分の（自分が自由に使える）携帯電話やPHSを持っていると答えた人に、携帯電話やPHSには、iモード、イージーウェブ、ジェースカイウェブ等インターネットに接続できる機能が付いているかをたずねたところ、「付いている」（92.1%）が9割を超えている。

(5) 名義

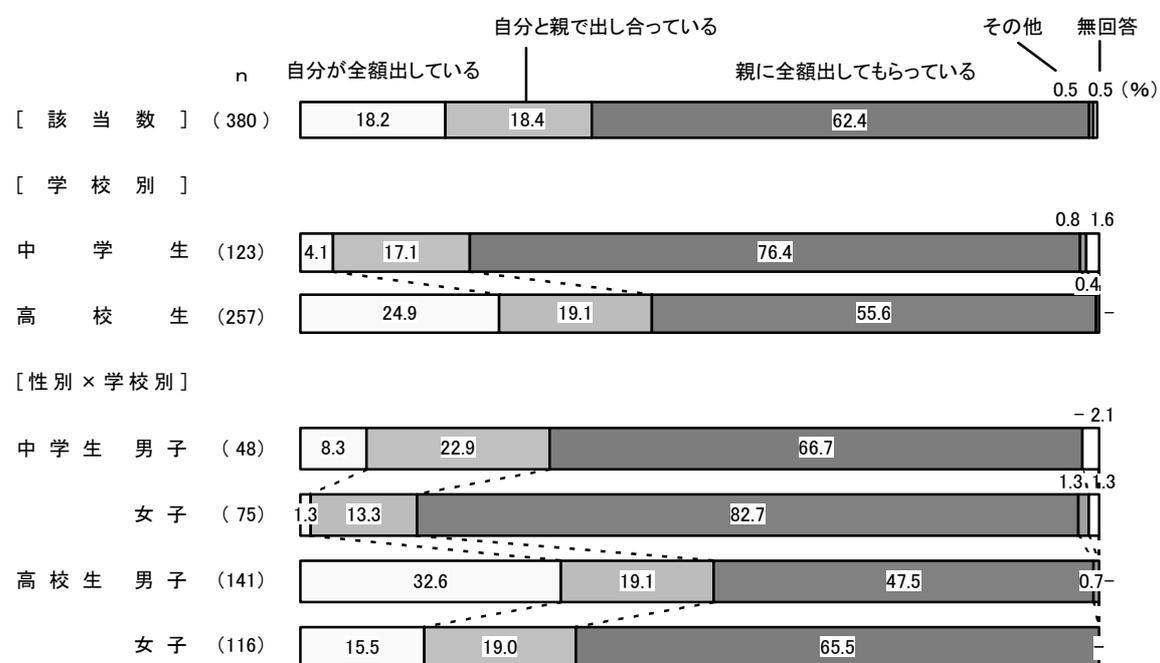


自分の（自分が自由に使える）携帯電話やPHSを持っていると答えた人に、携帯電話やPHSの名義（契約者）は、誰になっているかをたずねたところ、「親」が58.2%と半数を超えており、「自分」は37.4%となっている。

中・高別にみると、中学生は「親」（77.2%）がおよそ4人に3人の割合となっている。また、高校生は「親」（49.0%）が最も多いものの、「自分」（47.1%）も4割後半となり差はみられない。

(6) 使用料の支払者

B 5 あなたの携帯電話やPHSの月々の使用料は、誰が払っていますか。



自分の（自分が自由に使える）携帯電話やPHSを持っていると答えた人に、携帯電話やPHSの月々の使用料は、誰が払っているかをたずねたところ、「親に全額出してもらっている」（62.4%）が最も多く、6割を超えている。

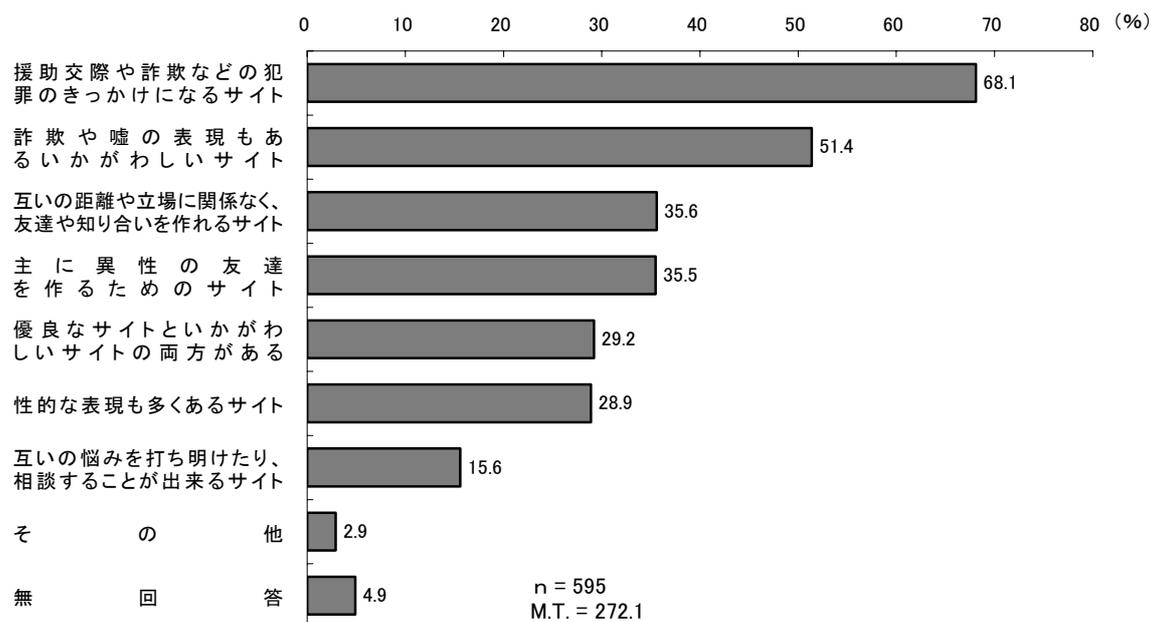
内訳をみると、「親に全額出してもらっている」は中学生（76.4%）で多く、およそ4人に3人の割合となっており、とりわけ中学生女子（82.7%）で8割を超えて多くなっている。一方、高校生男子（47.5%）は4割台にとどまり、「自分が全額出している」（32.6%）が3割を超えている。

2. 出会い系サイトについて

(1) 印象

見知らぬ人との出会いを支援するホームページ（いわゆる出会い系サイト）のことについてお聞きします。ただし、音声による伝言ボックスを除きます。

C1 あなたは、出会い系サイトに対してどのような印象を持っていますか。（複数回答）



出会い系サイト（見知らぬ人との出会いを支援するホームページ）に対してどのような印象を持っているかをたずねたところ、「援助交際や詐欺などの犯罪のきっかけになるサイト」（68.1%）が最も多く、次いで「詐欺や嘘の表現もある、いかがわしいサイト」（51.4%）、「互いの距離や立場に関係なく、友達や知り合いを作れるサイト」（35.6%）、「主に異性の友達を作るためのサイト」（35.5%）、「優良なサイトといかがわしいサイトの両方がある」（29.2%）、「性的な表現も多くあるサイト」（28.9%）と続いている。

内訳をみると、「援助交際や詐欺などの犯罪のきっかけになるサイト」は高校生（70.2%）で7割を超えており、とりわけ高校生女子（81.6%）で8割を超えて高い比率となっている。また、「性的な表現も多くあるサイト」は高校生（41.5%）が中学生（17.0%）をおよそ25ポイント、「主に異性の友達を作るためのサイト」は高校生（45.0%）が中学生（26.5%）をおよそ18ポイント上回っている。

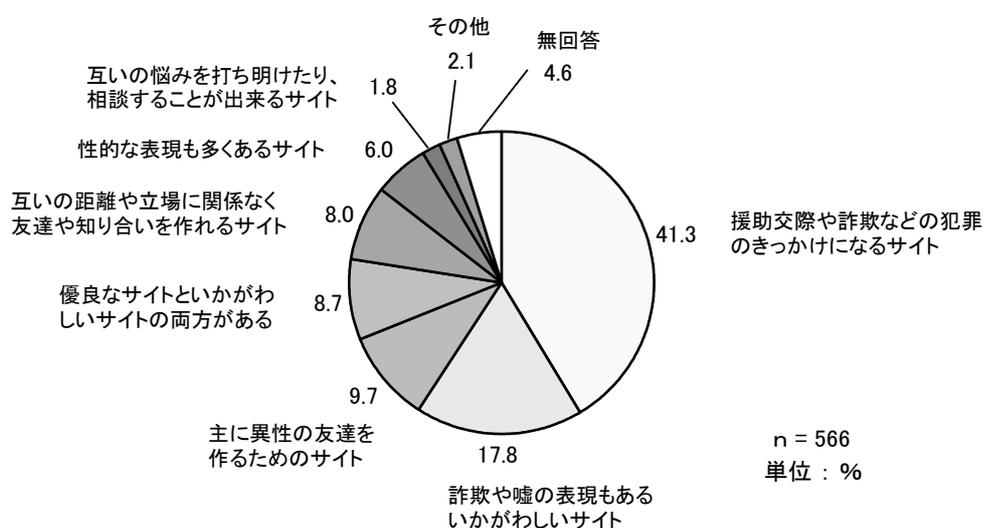
出会い系サイトに対する印象／学校別、性別×学校別

	n	援助交際や詐欺などの犯罪のきっかけになるサイト	詐欺や嘘の表現もあるいかかわしいサイト	互いの距離や立場に関係なく友達や知り合いを作れるサイト	主に異性の友達を作るためのサイト	優良なサイトとかがわしいサイトの両方がある	性的な表現も多くあるサイト	互いの悩みを打ち明けたり、相談することが出来るサイト	その他	無回答
[総 数]	(595)	68.1	51.4	35.6	35.5	29.2	28.9	15.6	2.9	4.9
[学 校 別]										
中 学 生	(306)	66.0	47.7	32.7	26.5	26.5	17.0	16.7	2.6	7.8
高 校 生	(289)	70.2	55.4	38.8	45.0	32.2	41.5	14.5	3.1	1.7
[性 別 × 学 校 別]										
中 学 生 男 子	(154)	57.1	46.1	32.5	22.7	24.0	14.9	16.9	4.5	13.0
女 子	(152)	75.0	49.3	32.9	30.3	28.9	19.1	16.4	0.7	2.6
高 校 生 男 子	(164)	61.6	51.8	37.2	44.5	30.5	36.6	14.6	3.7	3.0
女 子	(125)	81.6	60.0	40.8	45.6	34.4	48.0	14.4	2.4	-

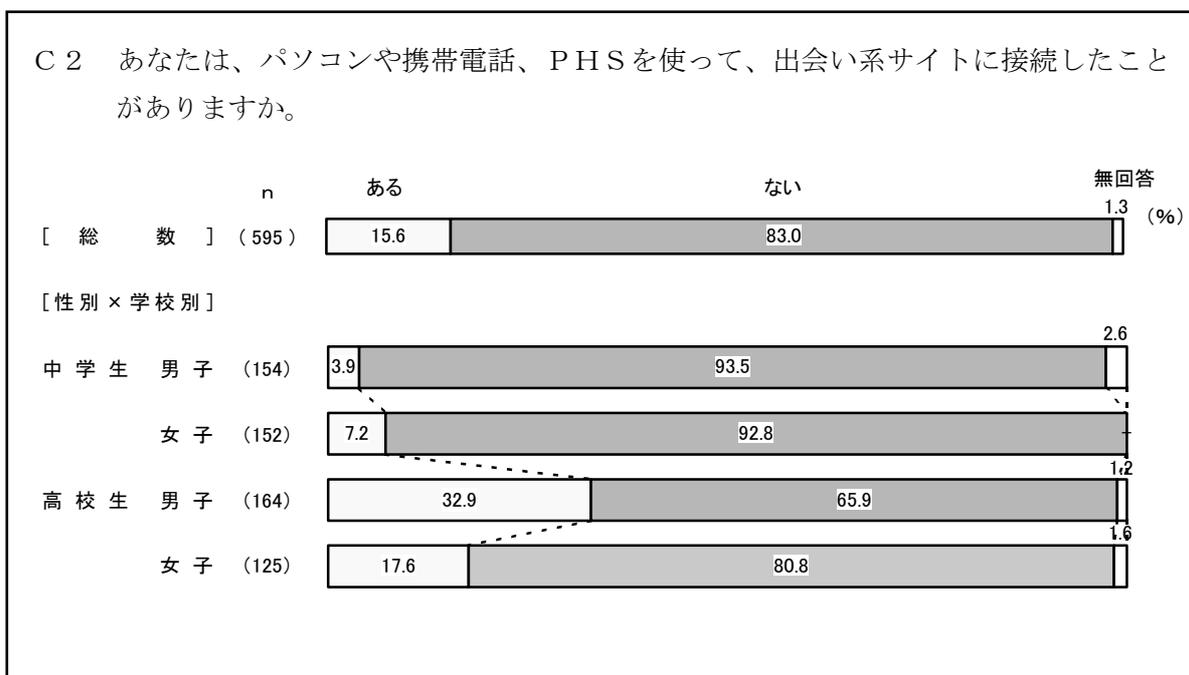
(%)

出会い系サイトに対して最も強く印象として持っているものを1つだけあげてもらったところ、「援助交際や詐欺などの犯罪のきっかけになるサイト」(41.3%)が最も多く4割を超えており、次いで「詐欺や嘘の表現もある、いかがわしいサイト」(17.8%)となっている。その他の回答は、1割に満たなかった。

出会い系サイトに対する最も強い印象



(2) 接続経験

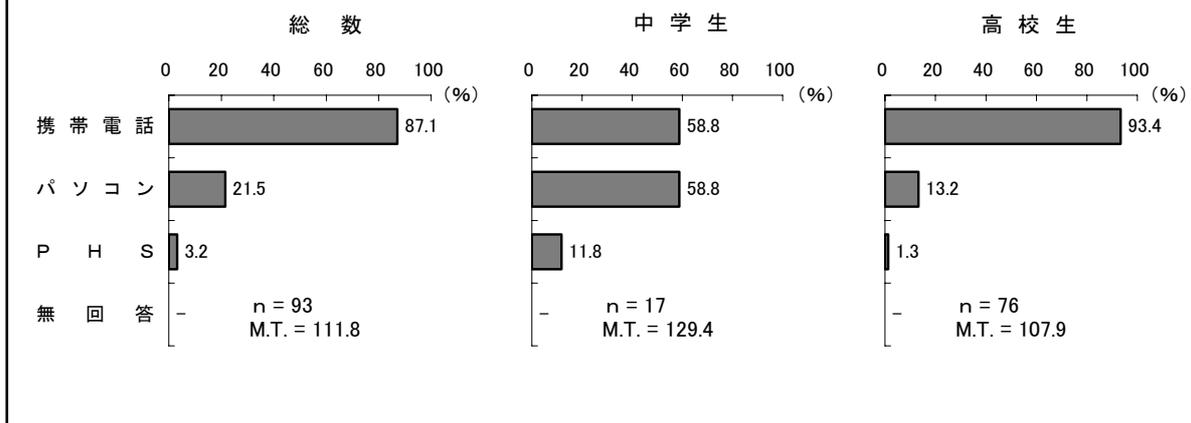


パソコンや携帯電話、PHSを使って、出会い系サイトに接続したことがあるかをたずねたところ、「ある」は15.6%、「ない」は83.0%となっている。

内訳をみると、「ある」は高校生男子(32.9%)でおよそ3人に1人の割合となっている。また、中学生男子・女子はともに1割未満となっている。

(3) 接続方法

C 2 1 あなたは、出会い系サイトを、どんな方法で（機種を使って）接続していますか。
（複数回答）

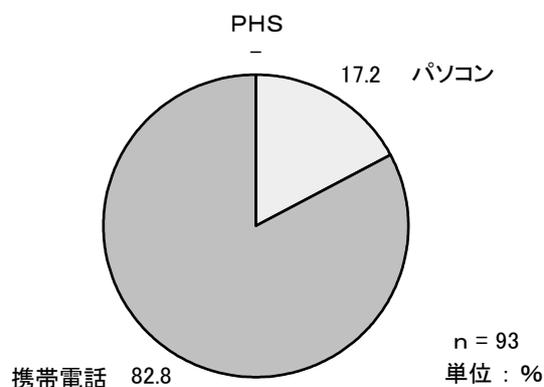


パソコンや携帯電話、PHSを使って、出会い系サイトに接続したことがあると答えた人に、出会い系サイトを、どんな方法で（機種を使って）接続しているかをたずねたところ、「携帯電話」（87.1%）が最も多く、次いで「パソコン」（21.5%）、「PHS」（3.2%）となっている。

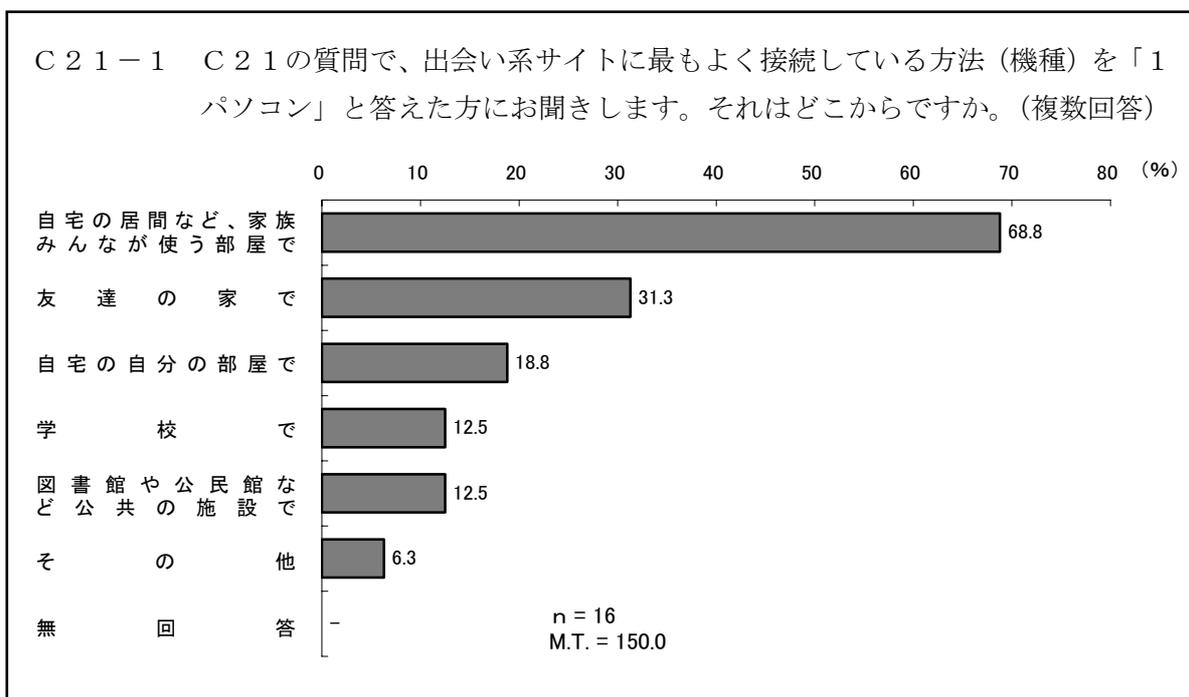
中・高別にみると、高校生で「携帯電話」（93.4%）は9割を超えている。また、中学生は「携帯電話」、「パソコン」ともに58.8%と同じ比率となっている。

出会い系サイトに最もよく接続している方法を1つあげてもらったところ、「携帯電話」が82.8%となっており、「PHS」と答えた人はいなかった。

出会い系サイトに最もよく接続する方法



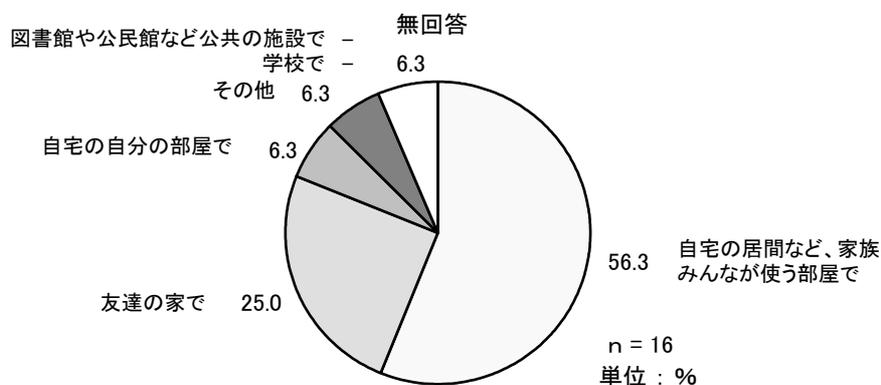
(4) 接続場所 (パソコン)



出会い系サイトに最もよく接続している方法がパソコンと答えた人に、どこから接続しているかをたずねたところ、「自宅の居間など、家族みんなが使う部屋で」(68.8%)が最も多く、次いで「友達の家で」(31.3%)、「学校で」(12.5%)、「図書館や公民館など公共の施設で」(12.5%)と続いている。

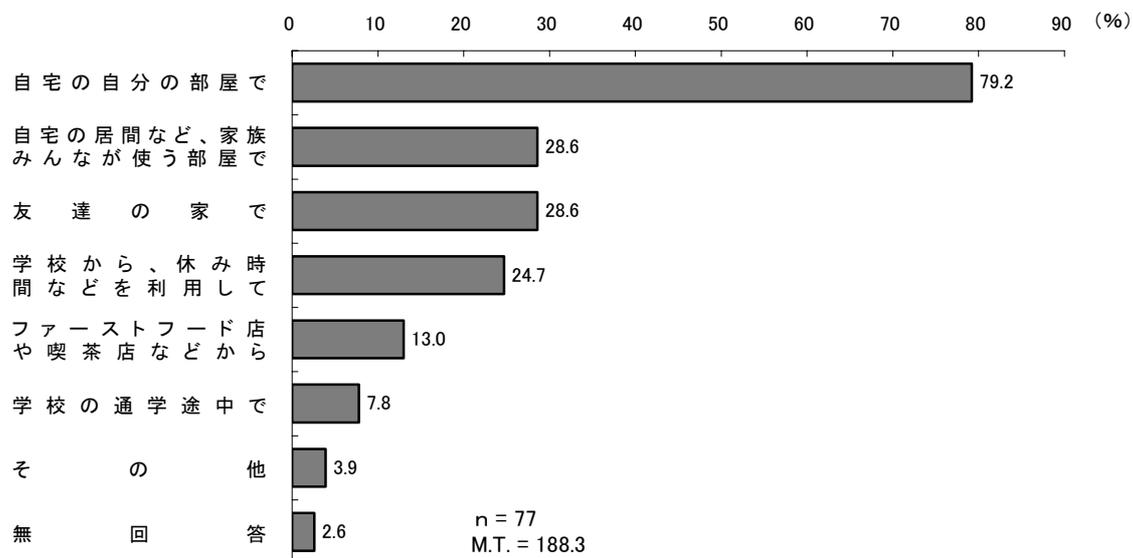
出会い系サイトに最もよく接続する場所を1つあげてもらったところ、「自宅の居間など、家族みんなが使う部屋で」(56.3%)が半数を占めている。

出会い系サイトに最もよく接続する場所 (パソコン)



(5) 接続場所（携帯電話・PHS）

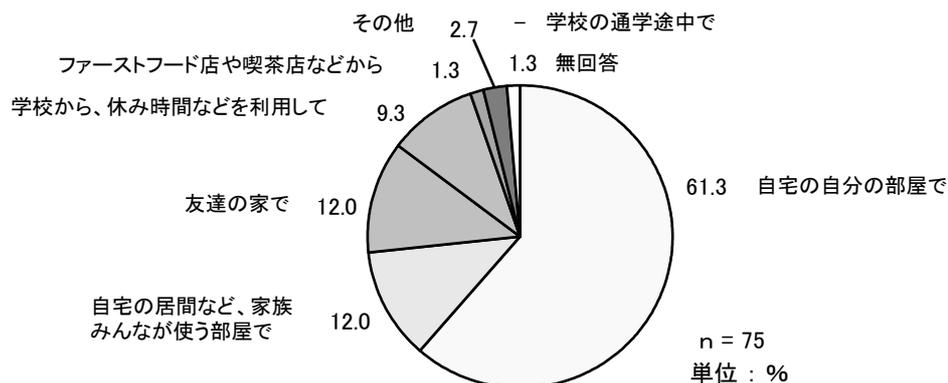
C21-2 C21の質問で、出会い系サイトに最もよく接続している方法（機種）を「2
携帯電話」または「2 PHS」と答えた方にお聞きします。それはどこから
（どのような時間を利用して）ですか。（複数回答）



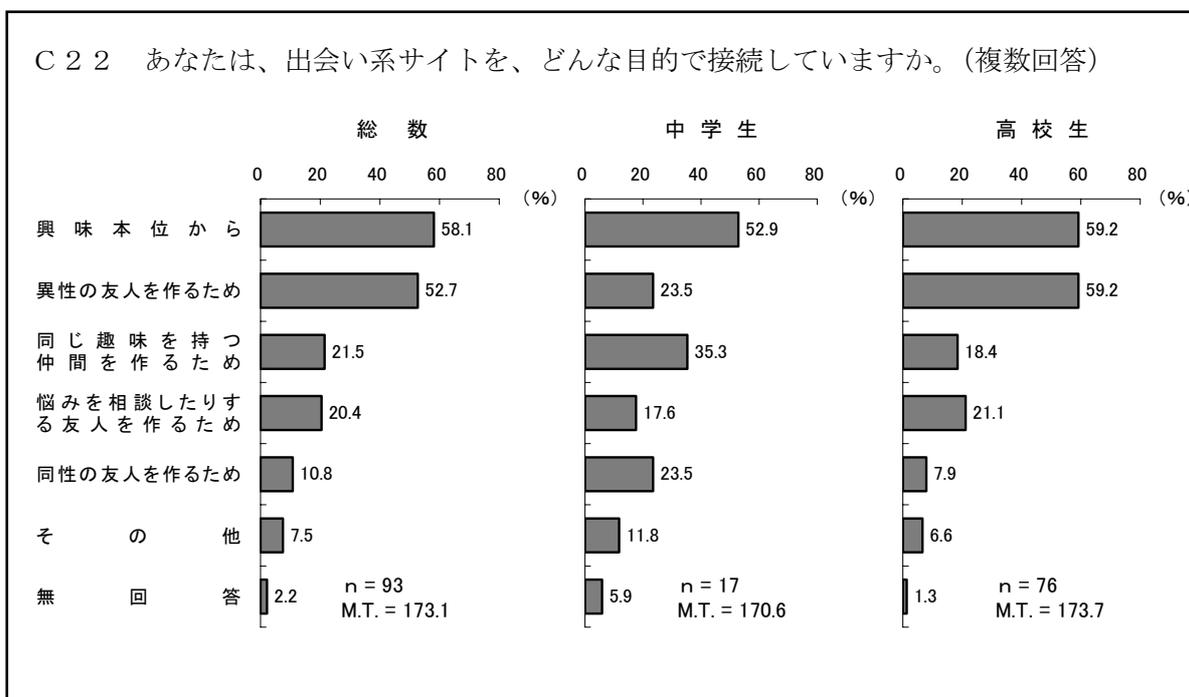
出会い系サイトに最もよく接続している方法が携帯電話、PHSと答えた人に、どこから（どのような時間を利用して）接続しているかをたずねたところ、「自宅の自分の部屋で」（79.2%）が最も多く、次いで「自宅の居間など、家族みんなが使う部屋で」（28.6%）、「友達の家で」（28.6%）、「学校から、休み時間などを利用して」（24.7%）、「ファーストフード店や喫茶店などから」（13.0%）、「学校の通学途中で」（7.8%）と続いている。

出会い系サイトに最もよく接続する場所を1つあげてもらったところ、「自宅の自分の部屋で」（61.3%）が6割台となっている。

出会い系サイトに最もよく接続する場所（携帯電話・PHS）



(6) 接続目的

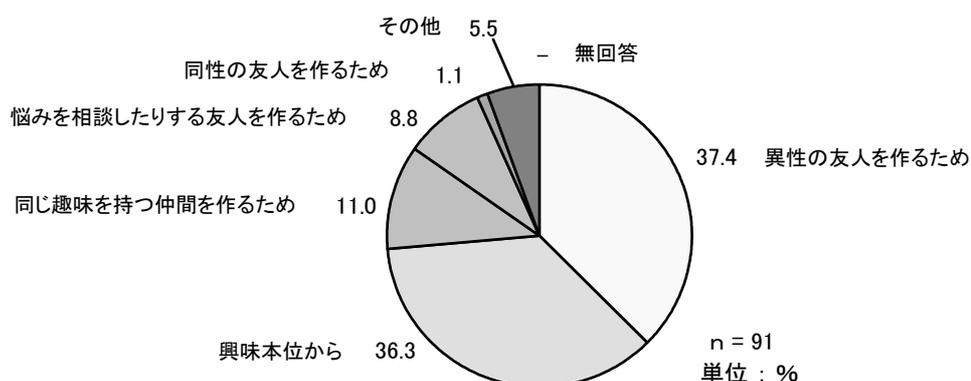


パソコンや携帯電話、PHSを使って、出会い系サイトに接続したことがあると答えた人に、どんな目的で出会い系サイトに接続しているかをたずねたところ、「興味本位から」(58.1%)が最も多く、次いで「異性の友人を作るため」(52.7%)、「同じ趣味を持つ仲間を作るため」(21.5%)、「同性の友人を作るため」(10.8%)と続いている。

中・高別にみると、中学生は「興味本位から」(52.9%)が最も多く、次いで「同じ趣味を持つ仲間を作るため」(35.3%)となっており、高校生は「興味本位から」と「異性の友人を作るため」がともに59.2%となっている。

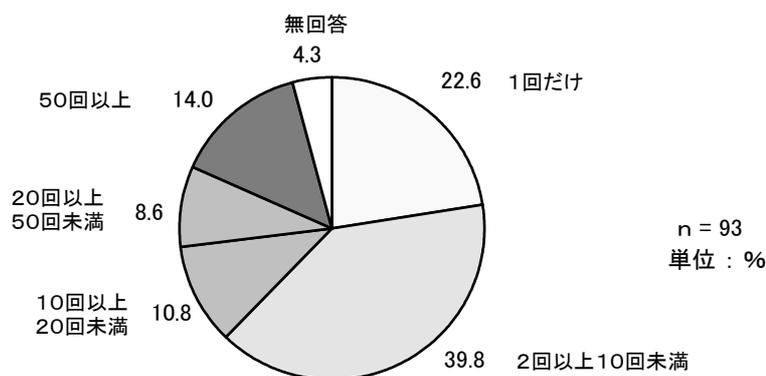
最もよく自分に当てはまる出会い系サイトの接続目的を1つあげてもらったところ、「異性の友人を作るため」(37.4%)、「興味本位から」(36.3%)が3割台と多くなっている。

最も自分に当てはまる出会い系サイトの接続目的



(7) 出会い系サイトへの書きこみや返信の回数

C 2 3 あなたは今までに、出会い系サイトへの書きこみや返信を、何回位したことがありますか。

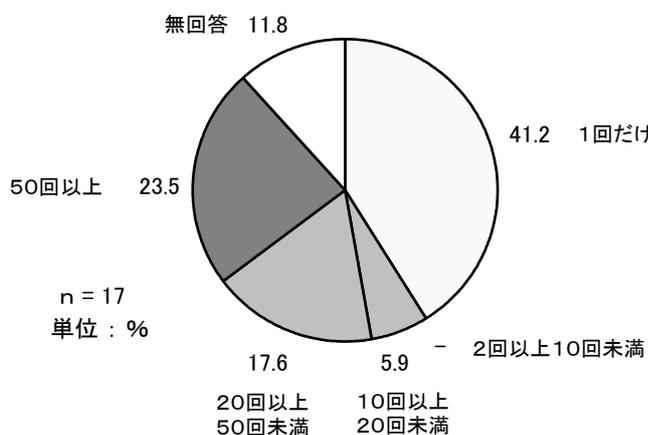


パソコンや携帯電話、PHSを使って、出会い系サイトに接続したことがあると答えた人に、今までに、出会い系サイトへの書きこみや返信を、何回位したことがあるかをたずねたところ、「2回以上10回未満」(39.8%)が最も多くおよそ4割となっており、「1回だけ」は22.6%、「50回以上」は14.0%となっている。

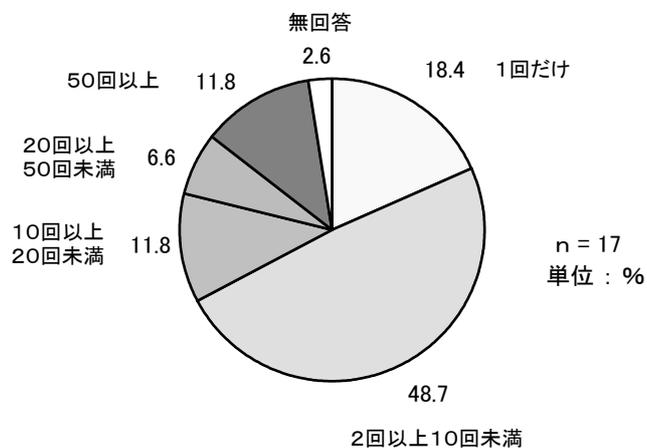
中・高別にみると、中学生は「1回だけ」(41.2%)が最も多くなっている。高校生は「2回以上10回未満」(48.7%)が最も多く、およそ半数となっている。

出会い系サイトへの書きこみや返信の回数/学校別

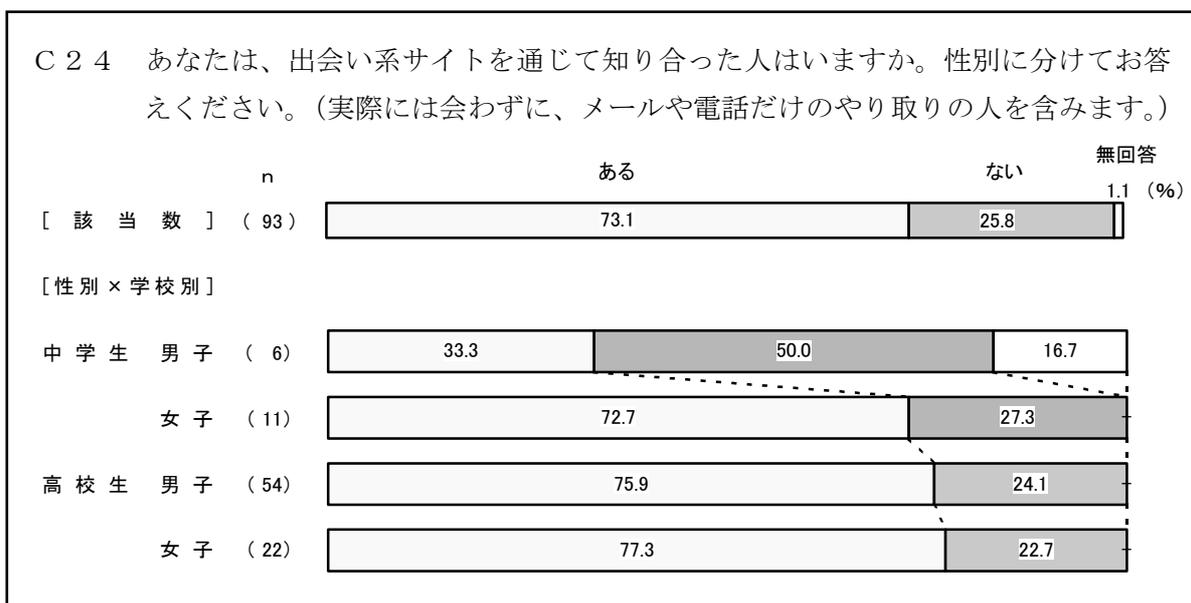
中学生



高校生



(8) 出会い系サイトで知り合った人はいるか

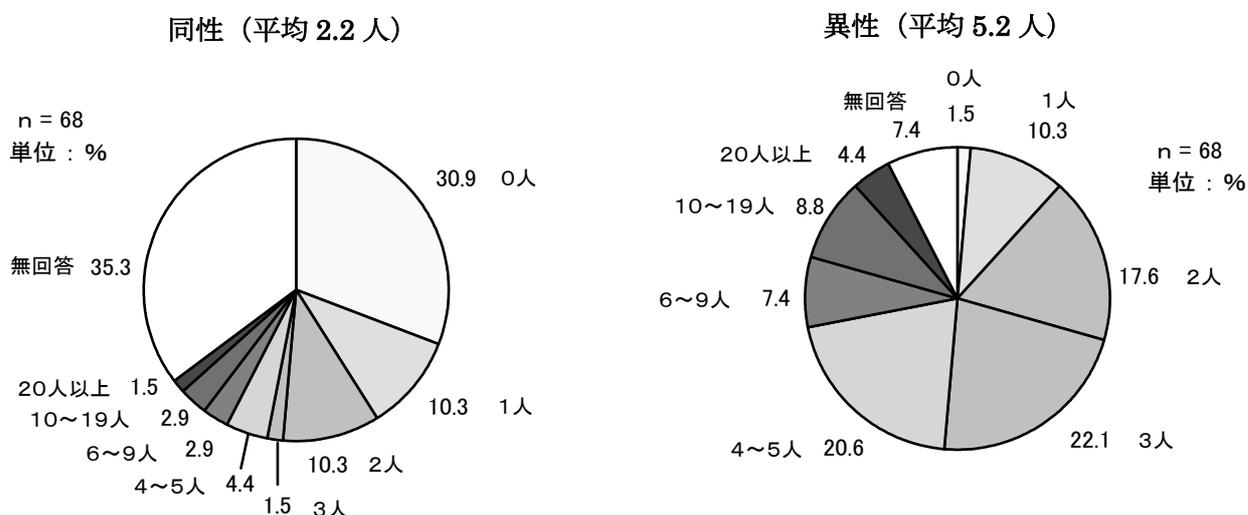


パソコンや携帯電話、PHSを使って、出会い系サイトに接続したことがあると答えた人に、出会い系サイトを通じて知り合った人（実際には会わずに、メールや電話だけのやり取りの人を含む）はいるかをたずねたところ、「ある」が73.1%となっている。

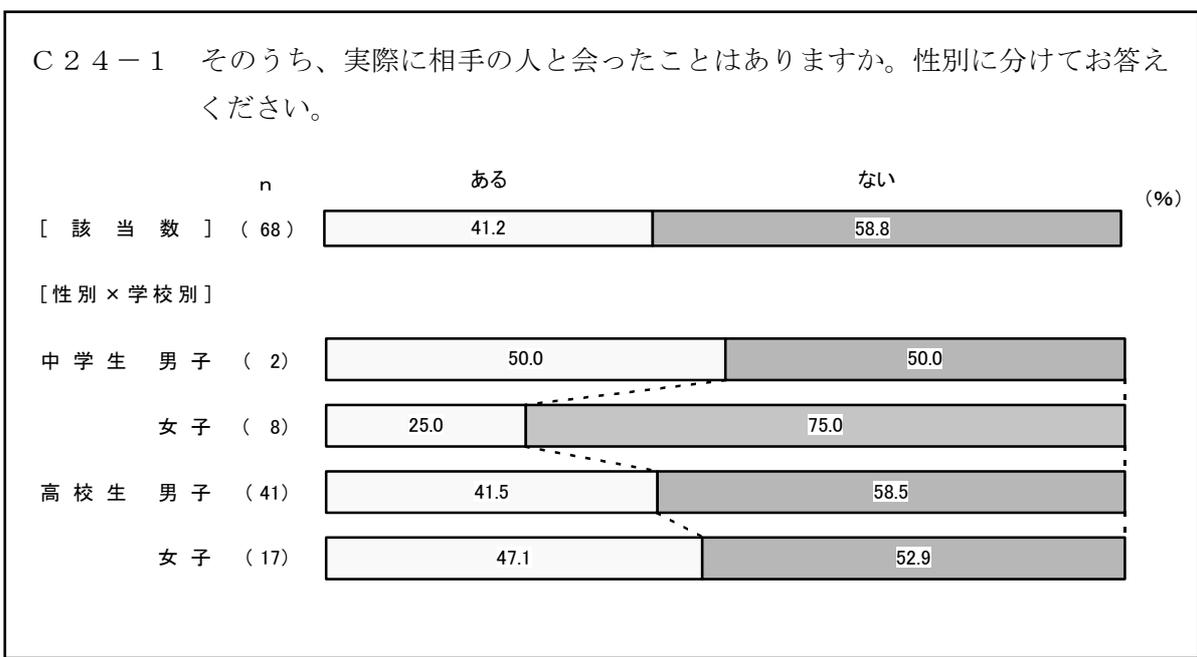
内訳をみると、中学生男子は「ない」(50.0%)が「ある」(33.3%)を上回っている。

出会い系サイトを通じて知り合った人の人数をたずねたところ、同性の人は平均で2.2人となっており、その内訳は「0人」が30.9%、「1人」と「2人」がともに10.3%となっている。また、異性の人は平均で5.2人となっており、その内訳は「3人」が22.1%と最も多く、「4～5人」が20.6%、「2人」が17.6%となっている。

出会い系サイトで知り合った人



(9) 実際に会った人はいるか

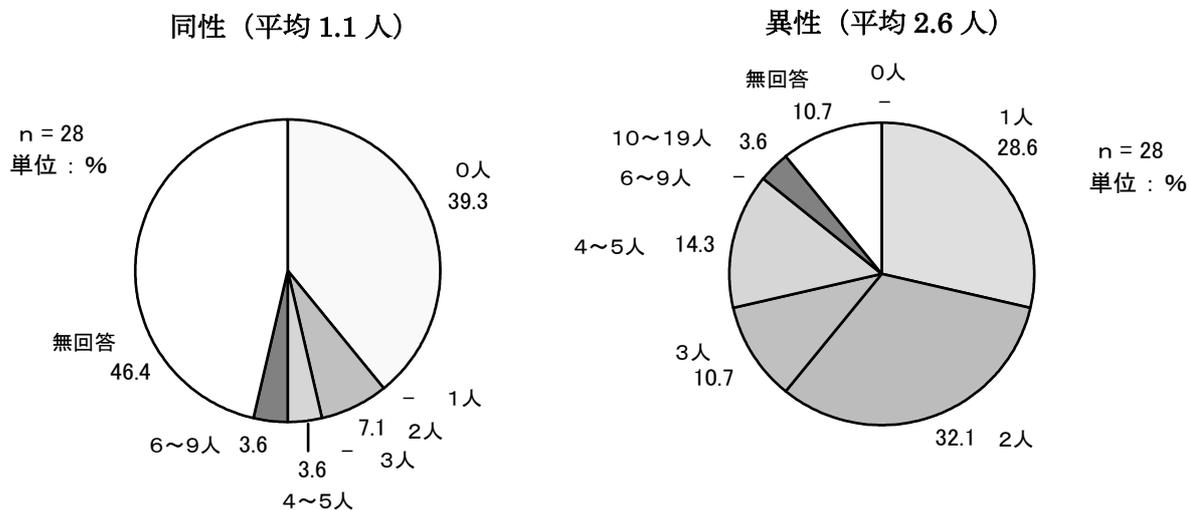


出会い系サイトを通じて知り合った人がいると答えた人に、実際に相手の人と会ったことがあるかをたずねたところ、「ある」が41.2%となっている。

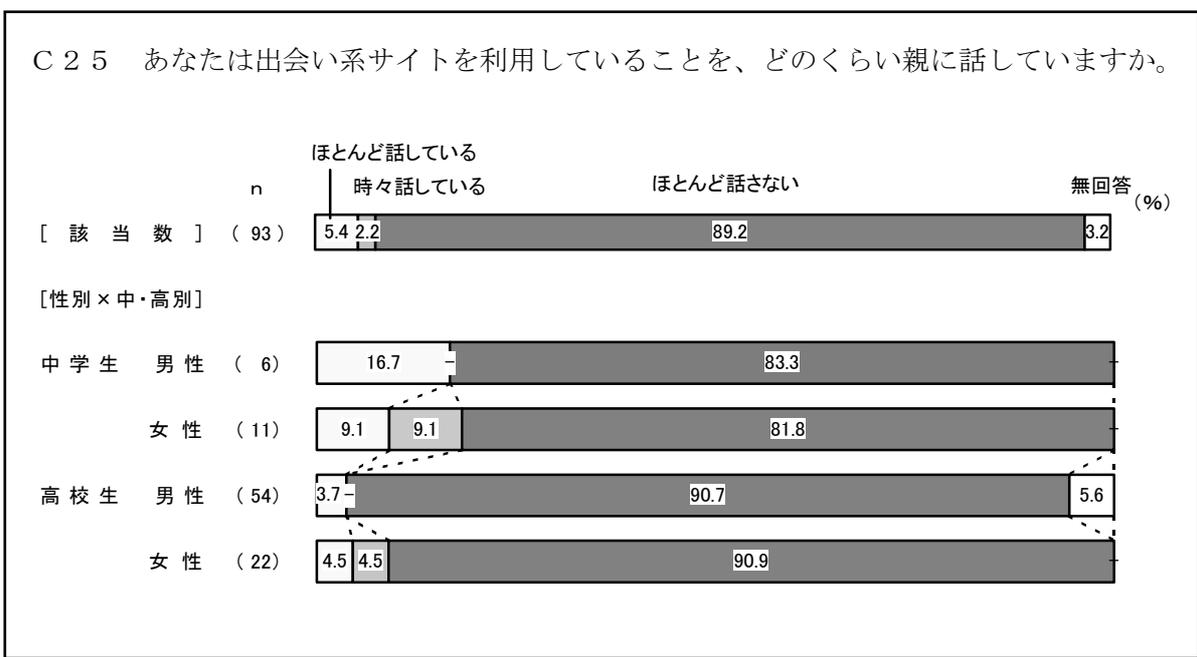
内訳をみると、「ある」は中学生男子、高校生男子・女子で4割を超えて平均を上回っており、中学生女子（25.0%）は4人に1人の割合となっている。

出会い系サイトを通じて実際に相手の人と会った人数をたずねたところ、同性の人は平均で1.1人となっており、その内訳は「0人」（39.3%）がおおよそ4割となっており、その他の回答は1割に満たない。また、異性の人は平均で2.6人となっており、その内訳は「2人」が32.1%と最も多く、「1人」が28.6%、「3人」が10.7%となっている。

実際に会った人



(10) 出会い系サイトの利用を親に話すか



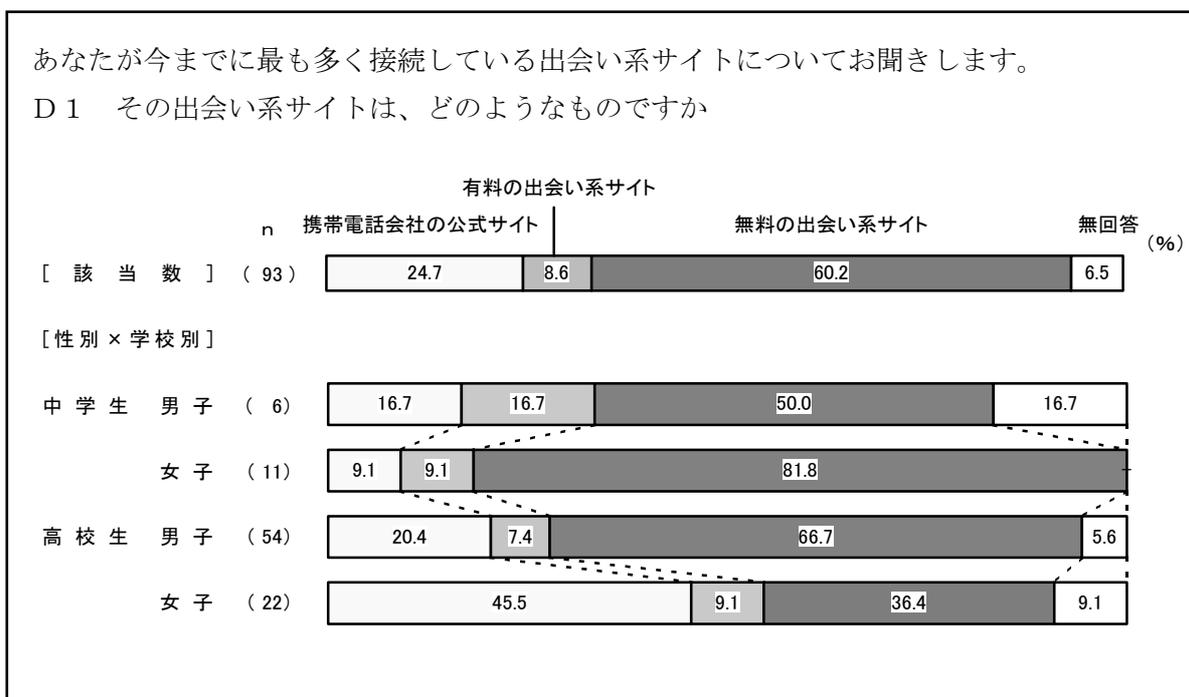
パソコンや携帯電話、PHSを使って、出会い系サイトに接続したことがあると答えた人に、出会い系サイトを利用していることを、どのくらい親に話しているかをたずねたところ、『話している（計）』（「ほとんど話している」（5.4%）＋「時々話している」（2.2%））が7.6%、「ほとんど話さない」が89.2%となっている。

内訳をみると、『話している（計）』は中学生男子・女子で1割強であるのに対し、高校生男子・女子は1割未満となっている。

(11) 出会い系サイトの種類

あなたが今までに最も多く接続している出会い系サイトについてお聞きます。

D1 その出会い系サイトは、どのようなものですか

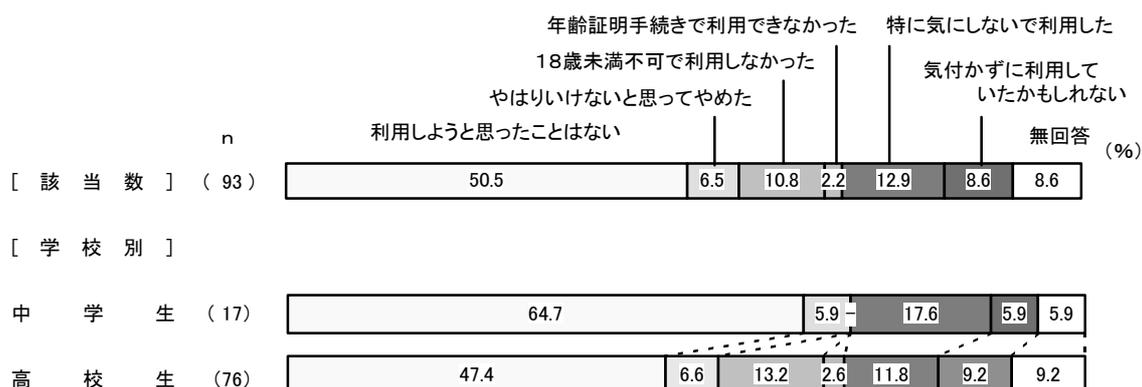


パソコンや携帯電話、PHSを使って、出会い系サイトに接続したことがあると答えた人に、その出会い系サイトは、どのようなものかをたずねたところ、「無料の出会い系サイト」が60.2%と最も多く、「携帯電話会社の公式サイト」が24.7%、「有料の出会い系サイト」が8.6%となっている。

内訳をみると、「無料の出会い系サイト」は、中学生女子(81.8%)で多く、8割を超えているのに対して、高校生女子(36.4%)は3割台にとどまり、「携帯電話会社の公式サイト」(45.5%)が4割台と多くなっている。

(12) 年齢制限がある出会い系サイトの利用

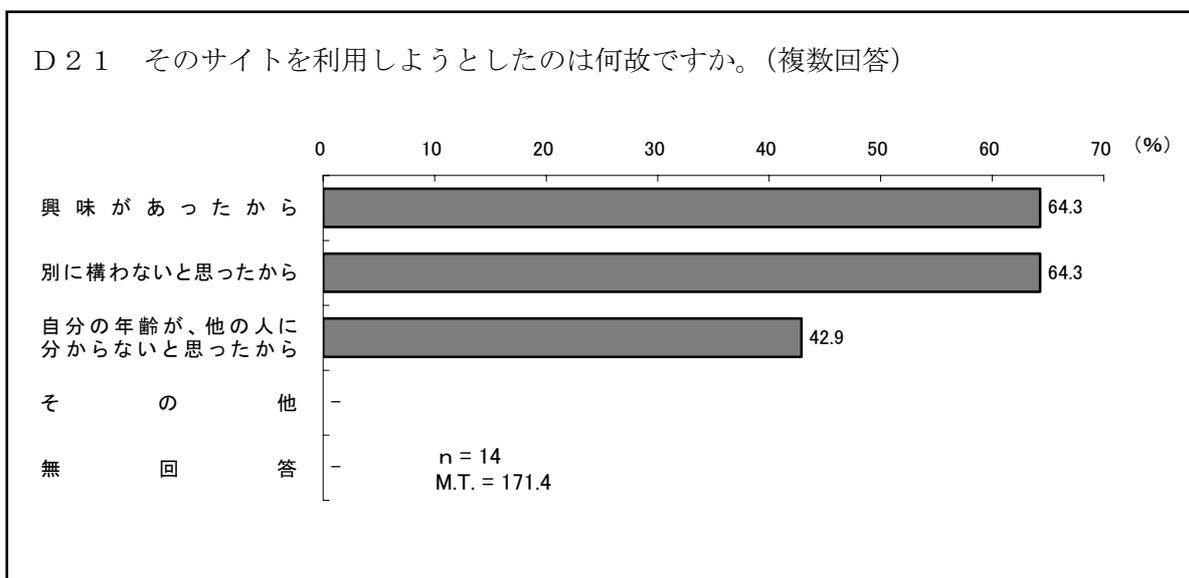
D 2 出会い系サイトの中には、18歳未満の人は利用しないようにと注意書きがあるなど、年齢によって利用を制限しているものがあります。あなたはこのようなサイトを利用しようとしたことがありますか。利用しようとしたことが2回以上ある場合は、一番最近のことについてお答えください。



パソコンや携帯電話、PHSを使って、出会い系サイトに接続したことがあると答えた人に、出会い系サイトの中には、18歳未満の人は利用しないようにと注意書きがあるなど、年齢によって利用を制限しているサイトを利用しようとしたことがあるかをたずねたところ、「利用しようと思ったことはない」(50.5%)が半数を占めており、「特に気にしないで利用した」が12.9%、「18歳未満不可で利用しなかった」が10.8%となっている。

中・高別にみると、「利用しようと思ったことはない」は中学生で64.7%、高校生で47.4%となっている。また、次位は、中学生で「特に気にしないで利用した」(17.6%)、高校生で「18歳未満不可で利用しなかった」(13.2%)となっている。

(13) 利用しようと思った理由



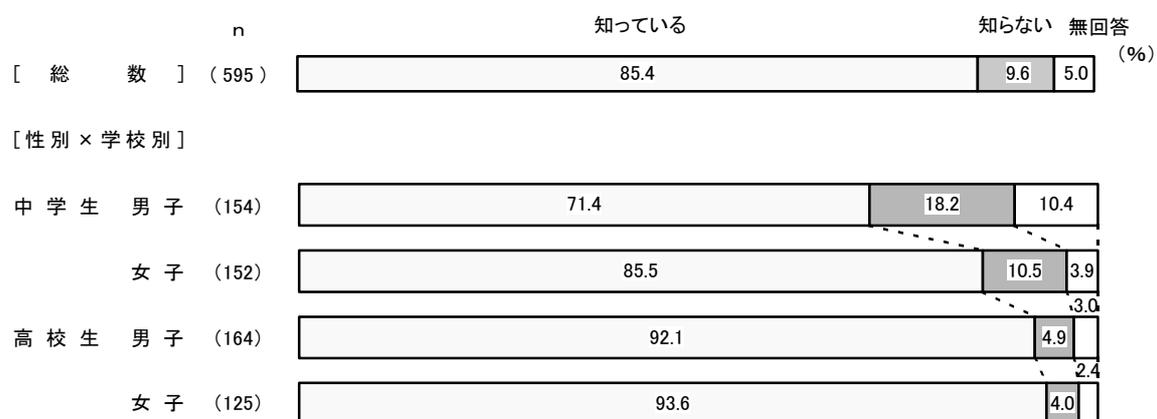
出会い系サイトの中で18歳未満の人は利用しないようにと注意書きがあるなど、年齢によって利用を制限しているサイトを特に気にせずに利用したと答えた人に、利用しようとしたのは何故かをたずねたところ、「興味があったから」、「別に構わないと思ったから」がともに64.3%、「自分の年齢が、他の人に分からないと思ったから」が42.9%となっている。

3. 出会い系サイトに関する問題について

(1) 児童買春事件・恐喝事件を知っているか

出会い系サイトに関係する、様々な問題についてお聞きします。出会い系サイトを利用したことがない方も、教えてください。

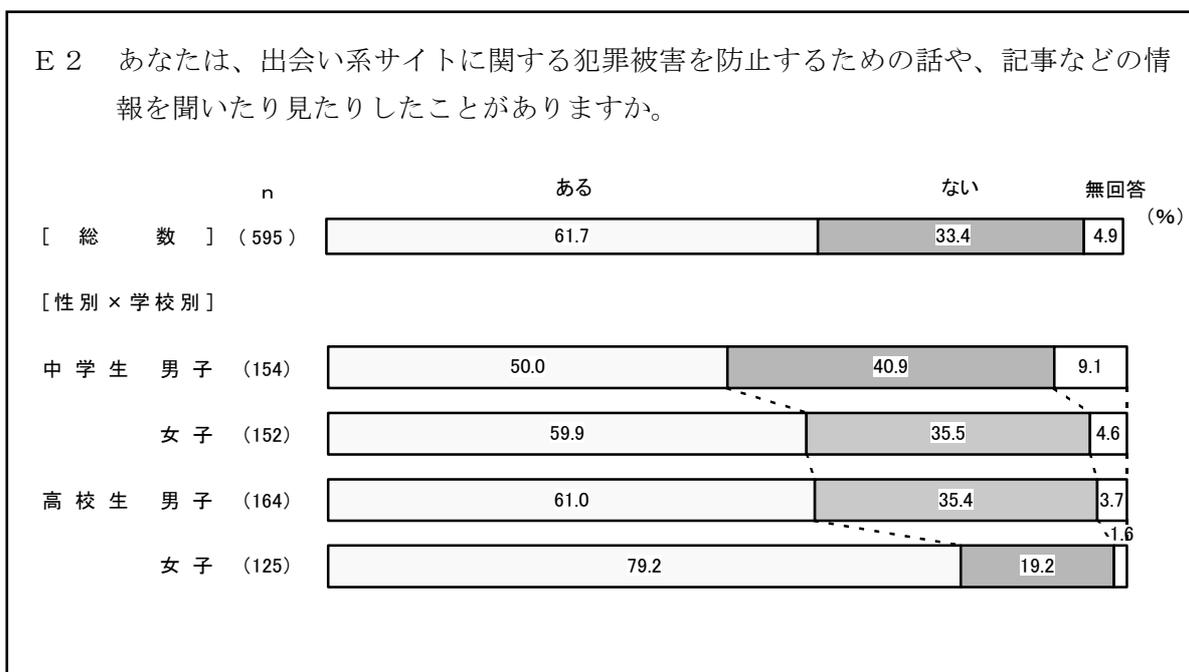
E1 出会い系サイトを通じて、児童買春事件（いわゆる援助交際のこと）や、他人に成りすまして相手をおびき出している恐喝事件など、様々な事件が発生しています。あなたはこのことを知っていますか。



出会い系サイトを通じて、児童買春事件（いわゆる援助交際のこと）や、他人に成りすまして相手をおびき出している恐喝事件など、様々な事件が発生していることを知っているかをたずねたところ、「知っている」が85.4%となっている。

内訳をみると、「知っている」は高校生男子・女子で多く、ともに9割を超えて高い比率を示している。中学生男子は7割を超えるにとどまった。

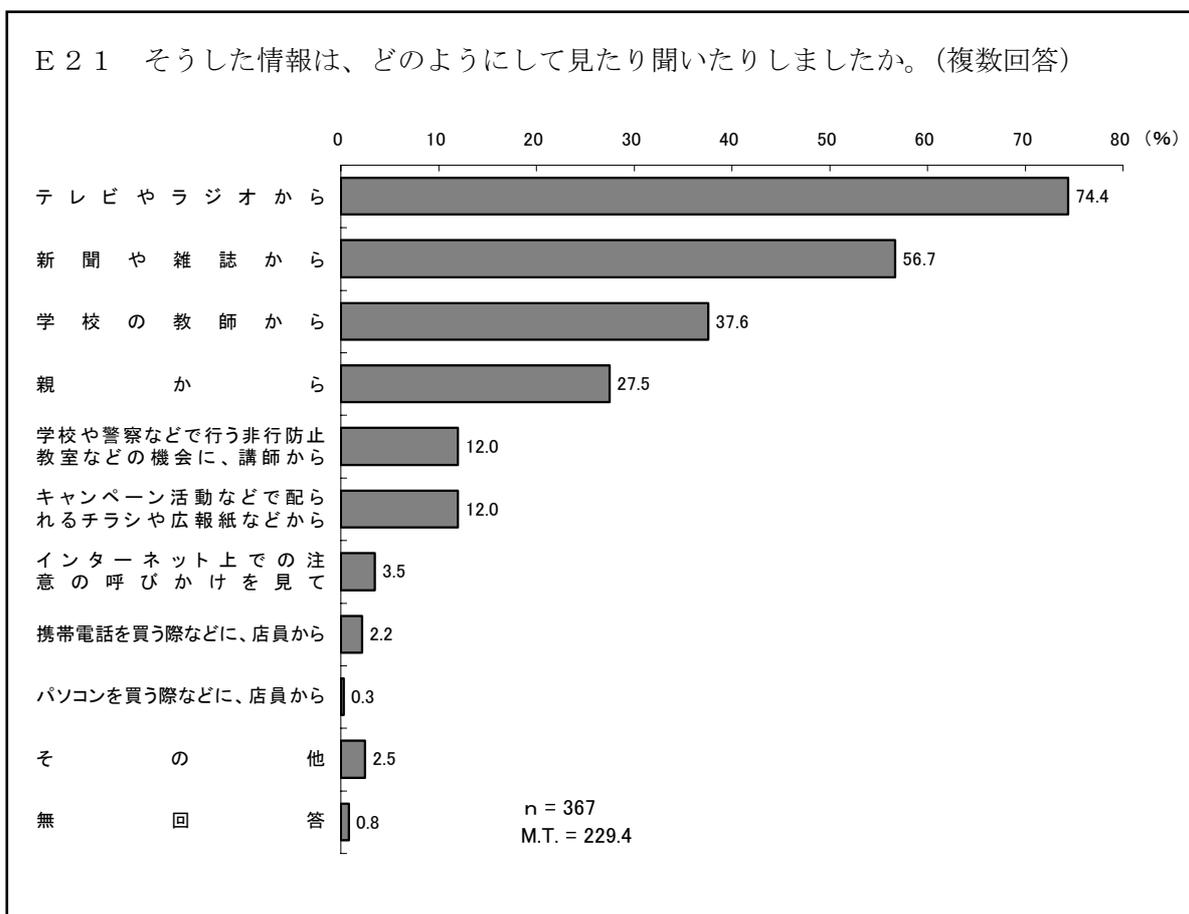
(2) 犯罪被害防止の情報を聞く（見る）か



出会い系サイトに関する犯罪被害を防止するための話や、記事などの情報を聞いたり見たりしたことがあるかをたずねたところ、「ある」(61.7%)が6割を超えている。

内訳をみると、「ある」は高校生女子(79.2%)で多く、8割近い比率を示しているのに対して、中学生男子(50.0%)は半数となっている。

(3) どのようにして聞く（見る）か



出会い系サイトに関する犯罪被害を防止するための話や、記事などの情報を聞いたり見たりしたことがあると答えた人に、そうした情報は、どのようにして見たり聞いたりしたかをたずねたところ、「テレビやラジオから」(74.4%)が最も多く、次いで「新聞や雑誌から」(56.7%)、「学校の教師から」(37.6%)、「親から」(27.5%)、「学校や警察などで行う非行防止教室などの機会に、講師から」(12.0%)、「キャンペーン活動などで配られるチラシや広報紙などから」(12.0%)と続いている。

内訳をみると、「テレビやラジオから」は高校生（79.9%）でおよそ8割となっており、とりわけ高校生男子で84.0%と高い比率を示している。また、「新聞や雑誌から」は高校生女子（66.7%）で、「学校の教師から」は高校生男子（43.0%）で、「親から」は中学生女子（40.7%）で多くなっている。

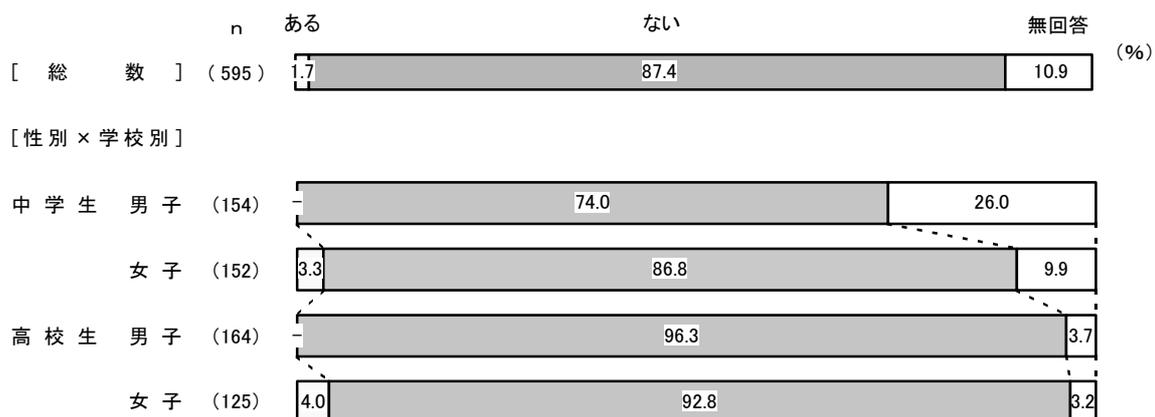
どのようにして聞く（見る）か／学校別、性別×学校別

	n	テレビやラジオから	新聞や雑誌から	学校の教師から	親から	学校や警察などの機会に、講師から	キャンペーン活動などから	チラシや広報紙などから	インターネット上での注意の呼びかけを見て	携帯電話を買う際に、店員から	パソコンを買う際に、店員から	その他	無回答
[該当数]	(367)	74.4	56.7	37.6	27.5	12.0	12.0	3.5	2.2	0.3	2.5	0.8	
[学校別]													
中学生	(168)	67.9	49.4	35.7	29.8	11.3	9.5	3.6	1.8	-	3.0	1.8	
高校生	(199)	79.9	62.8	39.2	25.6	12.6	14.1	3.5	2.5	0.5	2.0	-	
[性別×学校別]													
中学生男子	(77)	64.9	46.8	33.8	16.9	13.0	7.8	3.9	-	-	-	2.6	
中学生女子	(91)	70.3	51.6	37.4	40.7	9.9	11.0	3.3	3.3	-	5.5	1.1	
高校生男子	(100)	84.0	59.0	43.0	24.0	12.0	13.0	2.0	3.0	1.0	2.0	-	
高校生女子	(99)	75.8	66.7	35.4	27.3	13.1	15.2	5.1	2.0	-	2.0	-	

(%)

(4) 事件の被害者となったことや迷惑を受けたことはあるか

E3 あなた自身、出会い系サイトを通じて、見知らぬ人と実際に会ったことで事件の被害者となったり、迷惑を受けたりしたことがありますか。
 (あなた以外の方が、出会い系サイトを利用したことで、あなたに迷惑がかかったことも含みます。)

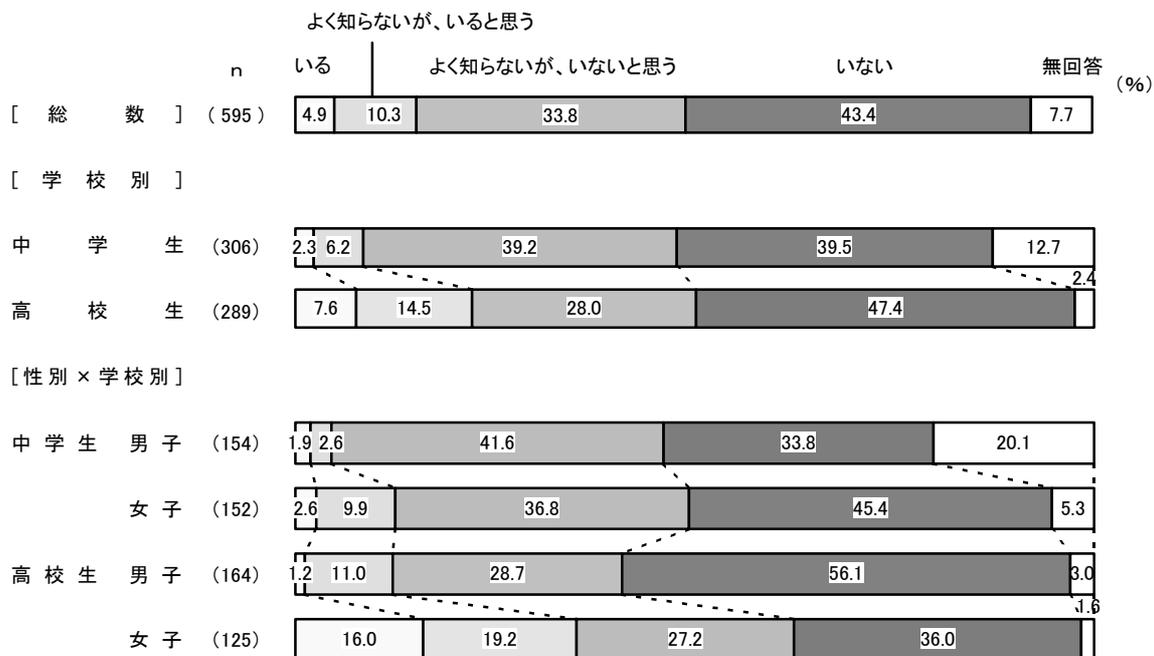


出会い系サイトを通じて、見知らぬ人と実際に会ったことで事件の被害者となったり、迷惑を受けたりしたことがあるかをたずねたところ、「ある」が 1.7%、「ない」が 87.4% となっている。

内訳をみると、「ある」は高校生女子 (4.0%)、中学生女子 (3.3%) でわずかながら回答があったが、男子ではなかった。

(5) 周囲に事件の被害者となったことや迷惑を受けた人はいるか

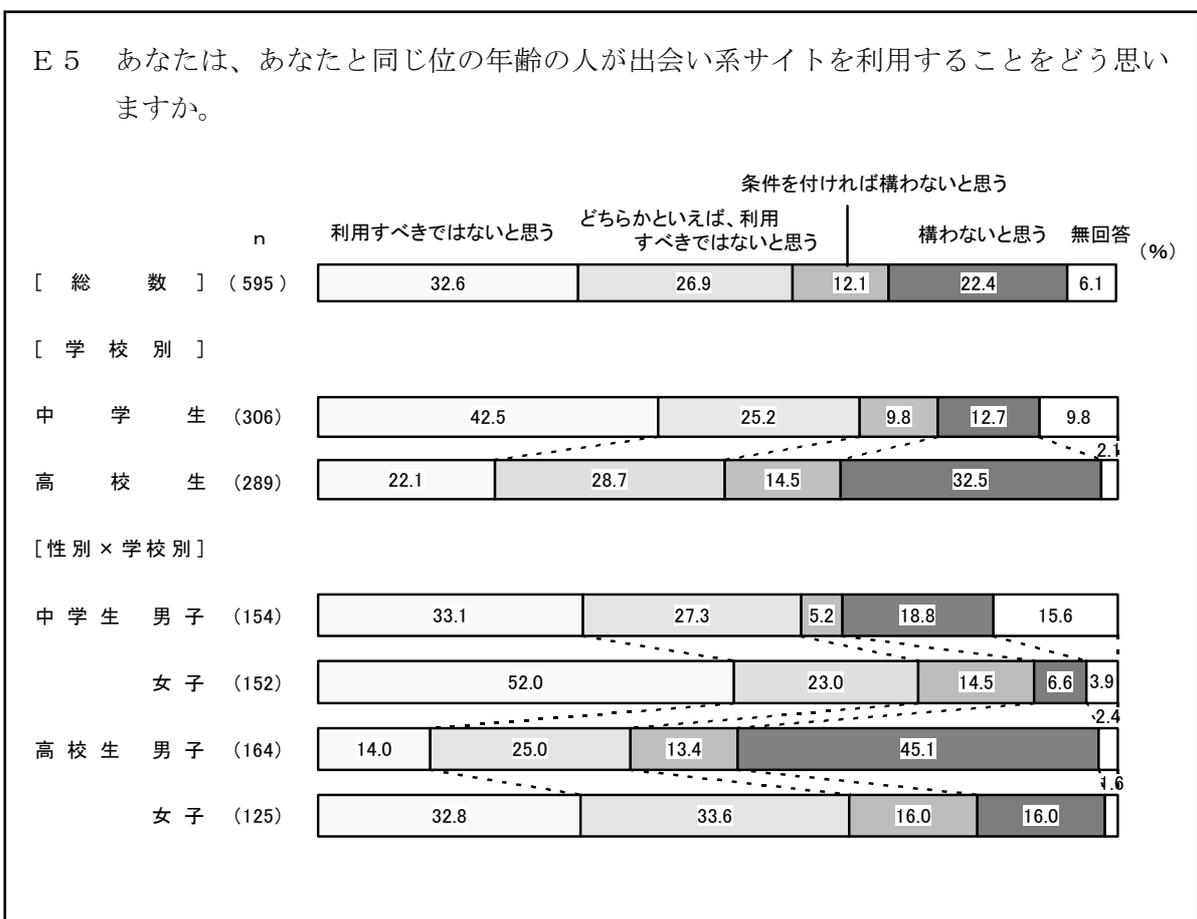
E 4 あなたの周りに、出会い系サイトを通じて実際に会ったことで事件の被害者となったり、迷惑を受けたりした人はいますか。



自分の周りに、出会い系サイトを通じて実際に会ったことで事件の被害者となったり、迷惑を受けたりした人がいるかをたずねたところ、『いる (計)』(「いる」(4.9%) + 「よく知らないが、いると思う」(10.3%)) が 15.2%、『いない (計)』(「いない」(43.4%) + 「よく知らないが、いないと思う」(33.8%)) が 77.2%となっている。

内訳をみると、『いる (計)』は高校生 (22.1%) が中学生 (8.5%) を上回っており、とりわけ高校生女子 (35.2%) で多くなっている。

(6) 同年代の人が出会い系サイトを利用することについて

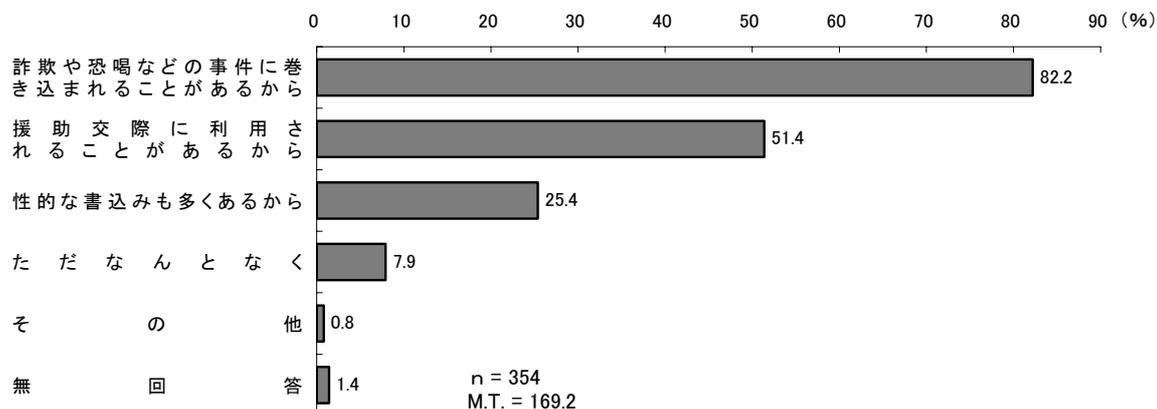


同じ位の年齢の人が出会い系サイトを利用することをどう思うかをたずねたところ、『利用すべきではない (計)』(「利用すべきではないと思う」(32.6%) + 「どちらかといえば、利用すべきではないと思う」(26.9%)) が 59.5%、『構わない (計)』(「条件を付ければ構わないと思う」(12.1%) + 「構わないと思う」(22.4%)) が 34.5%となっている。

内訳をみると、『利用すべきではない (計)』は中学生 (67.7%) が高校生 (50.8%) を上回っており、とりわけ中学生女子 (75.0%) で多く 4人に3人の割合となっている。一方、高校生男子 (39.0%) は4割に満たず、『構わない (計)』(58.5%) が過半数となっており許容的である。

(7) 利用すべきでないと思う理由

E 5 1 「利用すべきでないと思う」「どちらかといえば、利用すべきでないと思う」と答えた方にお聞きします。それはなぜですか。(複数回答)

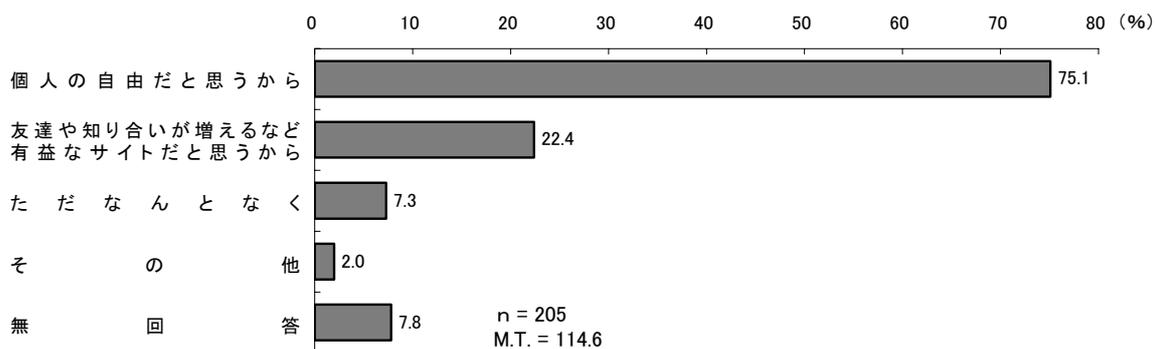


同じ位の年齢の人が出会い系サイトを利用することに対して、「利用すべきでないと思う」、「どちらかといえば、利用すべきでないと思う」と回答した人に、その理由をたずねたところ、「詐欺や恐喝などの事件に巻き込まれることがあるから」(82.2%)が最も多く、次いで「援助交際を利用されることがあるから」(51.4%)、「性的な書込みも多くあるから」(25.4%)、「ただなんとなく」(7.9%)と続いている。

(8) 利用しても構わないと思う理由

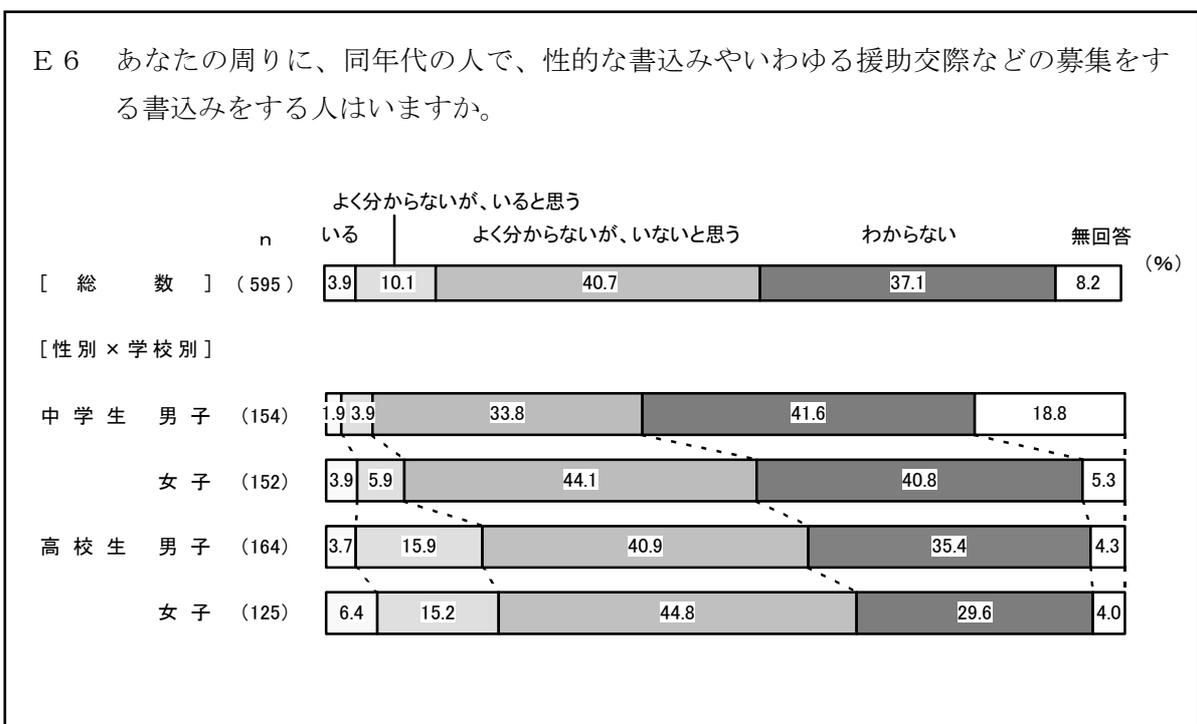
E 5 2 先の質問で「無条件で利用しても良いわけではないが、条件を付けば構わないと思う」「構わないと思う」と答えた方にお聞きします。それはなぜですか。

(複数回答)



同じ位の年齢の人が出会い系サイトを利用することに対して、「無条件で利用しても良いわけではないが、条件を付けば構わないと思う」、「構わないと思う」と回答した人に、その理由をたずねたところ、「個人の自由だと思うから」(75.1%)が最も多く、およそ4人に3人の割合となっており、「友達や知り合いが増えるなど有益なサイトだと思うから」が22.4%、「ただなんとなく」が7.3%となっている。

(9) 同年代の人で、性的な書込みをする人はいるか

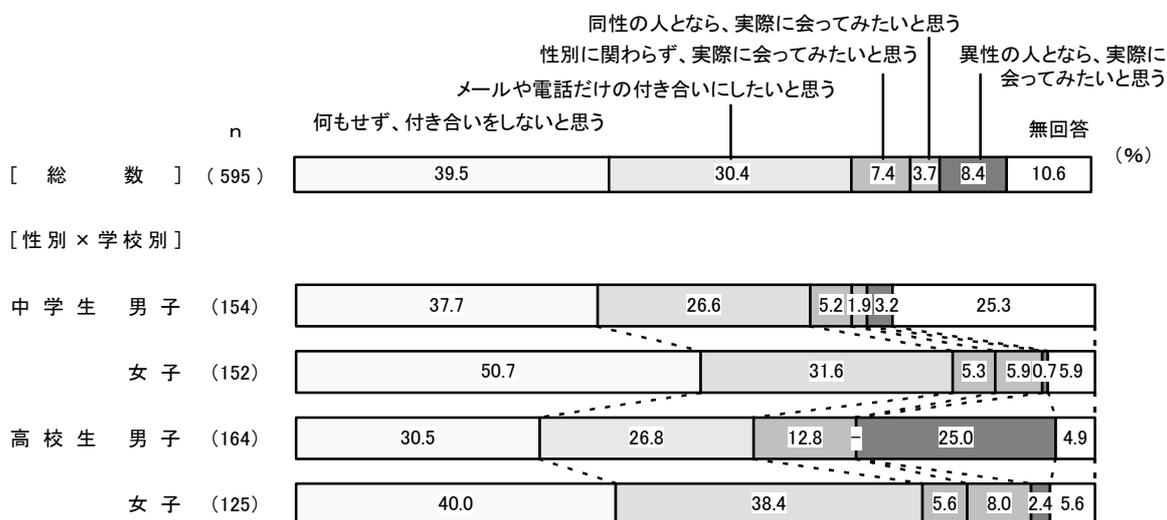


自分の周りに、同年代の人で、性的な書込みやいわゆる援助交際などの募集や書込みをする人がいるかをたずねたところ、『いる (計)』(「いる」(3.9%) + 「よく分からないが、いると思う」(10.1%)) が 14.0%、「よく分からないが、いないと思う」が 40.7%となっている。

内訳をみると、『いる (計)』は高校生で多く、女子 (21.6%)、男子 (19.6%) で 2 割前後となっている。一方、中学生は男子・女子ともに 1 割未満となっている。

(10) 実際に出会い系サイトの相手と会うことについて

E 7 あなたが、もし出会い系サイトを通じて見知らぬ相手と知り合いになった場合、実際に相手と会うことに関してうかがいます。



もし出会い系サイトを通じて見知らぬ相手と知り合いになった場合、実際に相手と会うことについてたずねたところ、『実際に会ってみたい (計)』(「性別に関わらず、実際に会ってみたいと思う」(7.4%) + 「同性の人となら実際に会ってみたいと思う」(3.7%) + 「異性の人となら実際に会ってみたいと思う」(8.4%)) が 19.5%、「メールや電話だけの付き合いにしたいと思う」が 30.4%、「何もしないと思う」が 39.5%となっている。

内訳をみると、『実際に会ってみたい (計)』は高校生男子で多く 37.8%となっており、特に「異性の人となら実際に会ってみたいと思う」(25.0%) の比率が高く 4人に1人の割合となっている。また、中学生女子は「何もしないと思う」(50.7%) が半数を占めている。